

令和7年度

事業概要



矢の平川大規模特定砂防等工事



長崎県 長崎振興局 建設部

目 次

1. 沿 革	P1
2. 管内の概況	P2
3. 組 織 図	P3
4. 事 務 分 掌	P6
5. 予 算	P8
6. 事業等年表	P10
7. 主 要 事 業	P12
(1)道路・街路事業(道路改良・街路・交通安全施設・道路災害防除 ・橋梁補修・無電柱化・舗装補修)	P14
(2)連続立体交差事業・土地区画整理事業	P30
(3)洪水対策事業(河川改修・ダム)	P32
(4)土砂災害防止対策事業(砂防・急傾斜・地すべり)	P45
8. 公共用地取得状況	P56
9. 県民参加の地域づくり	P57
10. 災害支援協定	P58
11. 許認可等状況	P61
12. 管 理 状 況	
(1)道 路	P64
(2)都市計画区域の指定及び都市計画決定	P67
(3)二 級 河 川	P69
(4)砂防指定地	P71
(5)急傾斜地崩壊危険区域指定地	P77
(6)地すべり防止区域指定地	P90
13. その他	
令和6年度優秀工事表彰	P91

長崎振興局建設部は、県南部を所管する地方機関として県庁から北へ 4.1kmの地点に位置し、その管轄区域は長崎市を中心に周辺 1 市 2 町にわたり人口約 45 万人（県全体の 36.5%）、面積約 455km²（県全体の 11.0%）を擁する広範囲な行政区域を担当し、生活環境の改善と産業基盤の整備を推進している。

昭和 22 年地方自治法の制定に伴い長崎土木出張所（定数 16 人）が設置され、その後、昭和 31 年に大幅な組織機構の改正により庶務課、工務第一課、工務第二課から成る長崎土木事務所に改組され、また、職員の増員と機構の拡充が行われた。その後さらに時代の変遷と土木行政の需要の増大に伴い、大瀬戸地区を所管していた大瀬戸支所が分離独立した。

なお、平成 21 年 4 月には地方機関再編により長崎土木事務所は総務、経理の管理部門及び長崎港湾漁港事務所を分離し、長崎振興局建設部となった。組織改正の沿革は以下のとおり。

- ① 昭和 50 年 4 月 地域開発に伴う水資源の開発促進のための**ダム建設室**を設置
- ② 昭和 51 年 4 月 戦災復興都市計画事業に引き続き時津町地域の都市開発事業を計画的に進めるため、**時津都市開発事業所**を設置
- ③ 昭和 56 年 4 月 管理行政の充実促進を図るため、土木機関では始めて管理部門を分離し、**管理課**を設置
- ④ 昭和 57 年 10 月 昭和 57 年 7 月 23 日夕刻から深夜にかけて、長崎市を中心に周辺市町を襲った集中豪雨による大水害の早期復旧を図るため、**災害復興対策室**を設置。（昭和 62 年度をもって、昭和 57 年災害関係事業は一応終了し、**災害復興対策室**を廃止）
- ⑤ 平成 3 年 3 月 県営失業対策事業を長崎市に移管したことにより**長崎失業対策事業所**を廃止
- ⑥ 平成 5 年 4 月 長与町の土地区画整理事業の本格化に伴い事業量の増大に対処するため、時津都市開発事業所を**時津都市開発事業所**と**長与都市開発事業所**に分離
- ⑦ 平成 7 年 4 月 九州横断自動車道の延伸に伴い、アクセス道路等事業の促進を図るため道路建設課幹線道路班が分離独立し、出島バイパス建設事務所新設
- ⑧ 平成 11 年 3 月 時津中央土地区画整理事業の受託業務終了に伴い**時津都市開発事業所**を廃止
- ⑨ 平成 16 年 4 月 組織の再編統合に伴い、出納係を廃止し、港湾漁港部門を臨海開発局に集約し、長崎土木事務所の内部組織として**長崎港湾漁港事務所**に改組
- ⑩ 長崎市と周辺 6 町（香焼町、伊王島町、高島町、野母崎町、三和町及び外海町）の合併（合併施行日は平成 17 年 1 月 4 日）に伴い**神浦ダム管理事務所**が当所の組織となる。
- ⑪ 平成 21 年 4 月 地方機関再編により**長崎土木事務所**は総務、経理の管理部門及び長崎港湾漁港事務所を分離し、**長崎振興局建設部**となる。
- ⑫ 平成 25 年 4 月 組織の再編統合に伴い、ダム室・河川防災課を河川課・砂防課に改組、長崎鉄道高架整備事務所の廃止に伴い、長崎振興局建設部都市計画課に鉄道高架班を設置
- ⑬ 令和 4 年 4 月 JR長崎本線連続立体交差事業の概成に伴い都市計画課鉄道高架班を廃止し、新たに幹線道路班を設置

2. 管内の概況

建設部は、県南部を所管する地方機関として県庁から北へ 4.1kmの地点に位置し、その管轄区域は長崎市を中心に周辺 1 市2町（長与町、時津町）にわたり人口約 452,543 人（県全体の 36.53%）、面積 455.36km²（県全体の 11.0%）を擁する広範囲な行政区域を担当している。

市 町 名	面 積 (R6.10.1 現在) km ²	長崎県異動人口調査 (R7.4.1 現在) 人	令和2年国勢調査に 対する増減人数 人
 長 崎 市	405.69	385,105	△24,200
 長 与 町	28.73	38,721	△2,079
 時 津 町	20.94	28,717	△639
合 計 ①	455.36	452,543	△26,918
長 崎 県 全 域 ②	4,130.99	1,238,888	△74,215
①/②×100	11.02%	36.53%	——

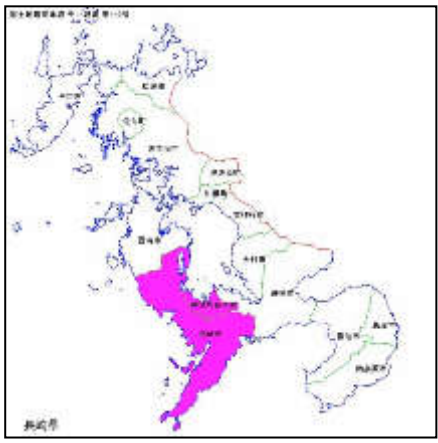
●人口動態

人口の推移をみると、県全体としては昭和 35 年をピークに減少を続けており、近年は著しく減少している。

長崎地区をみると、昭和 60 年をピークに減少傾向にある。

長崎市の人口は、1985 年（昭和 60 年）の約 45 万人（旧長崎市のみ）をピークに減少に転じている。

長与町・時津町においては、長崎市のベッドタウン化・新興住宅増加に伴い増加傾向にあったが、近年は横ばい又は、微減の状況にある。

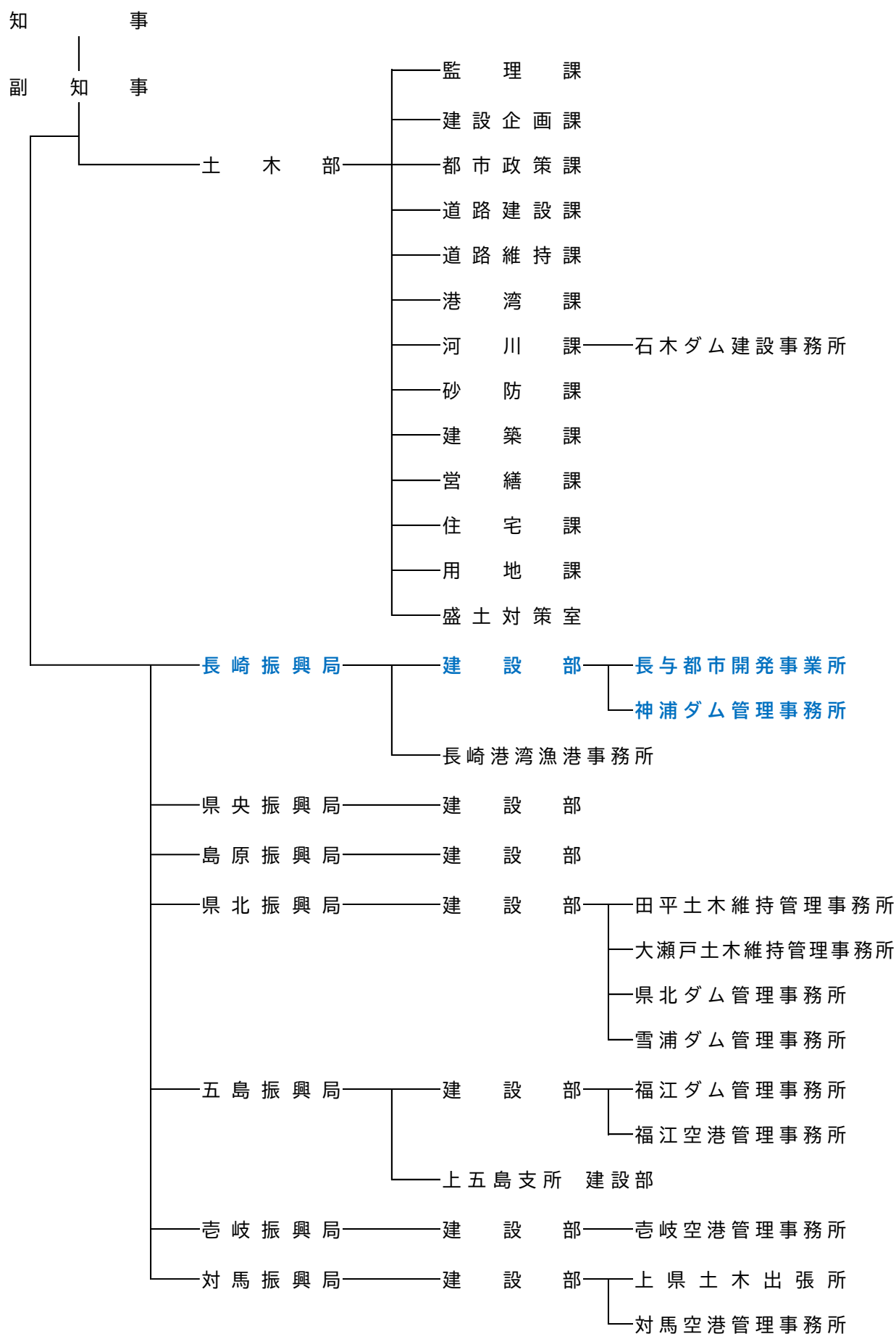


長崎振興局建設部管内位置図



3. 組織図

●土木部等行政機構図（令和7年4月1日現在）



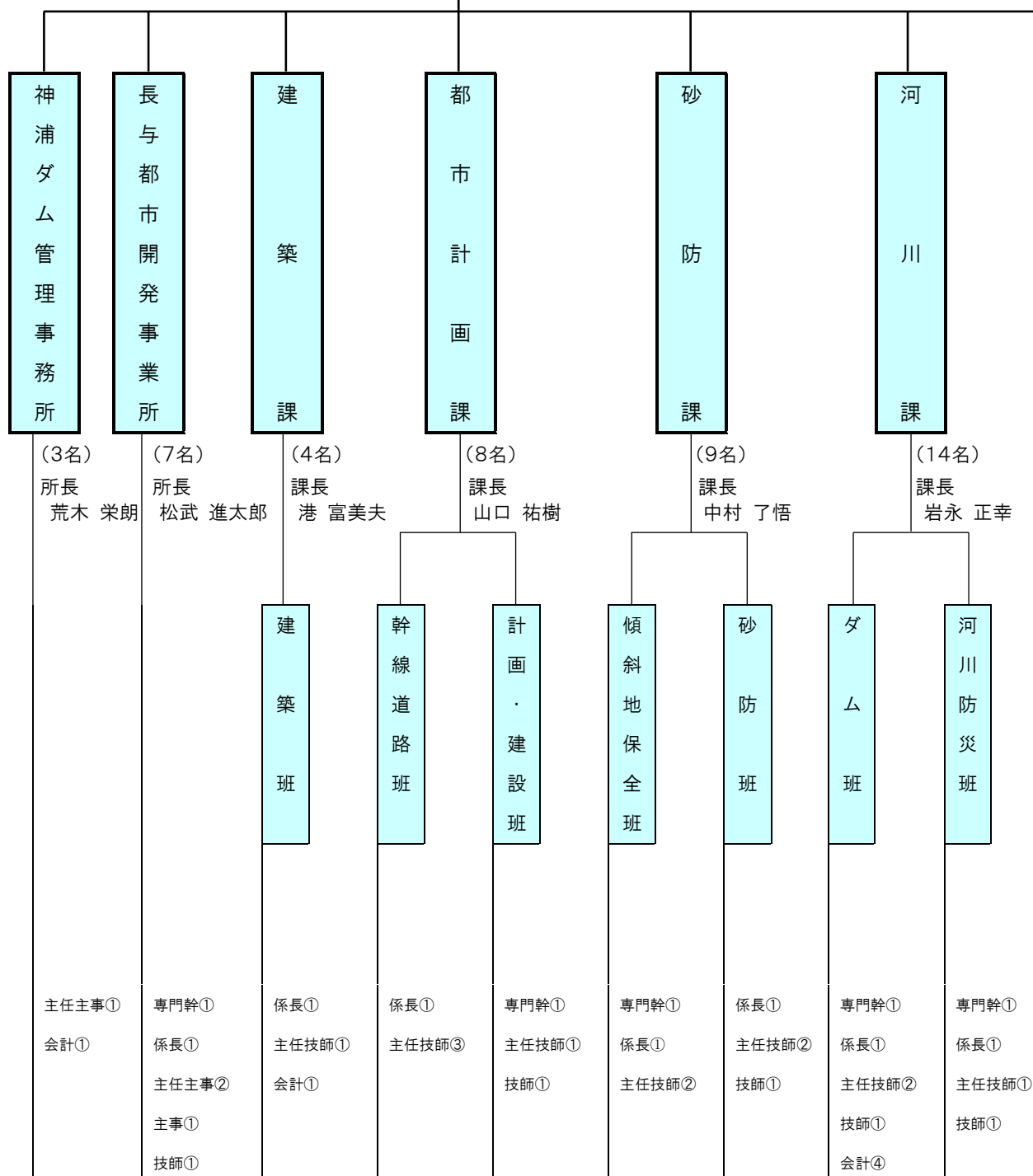
●長崎振興局建設部の組織図 (令和7年4月1日現在)

長崎振興局 局長 有吉 佳代子

次長兼建設部長 北原 雄一

副部長②(事務 兼管理課長)井手口 勝也・(技術)廣瀬 純二

検査指導幹② 大浦 勇・田尾 竹一郎



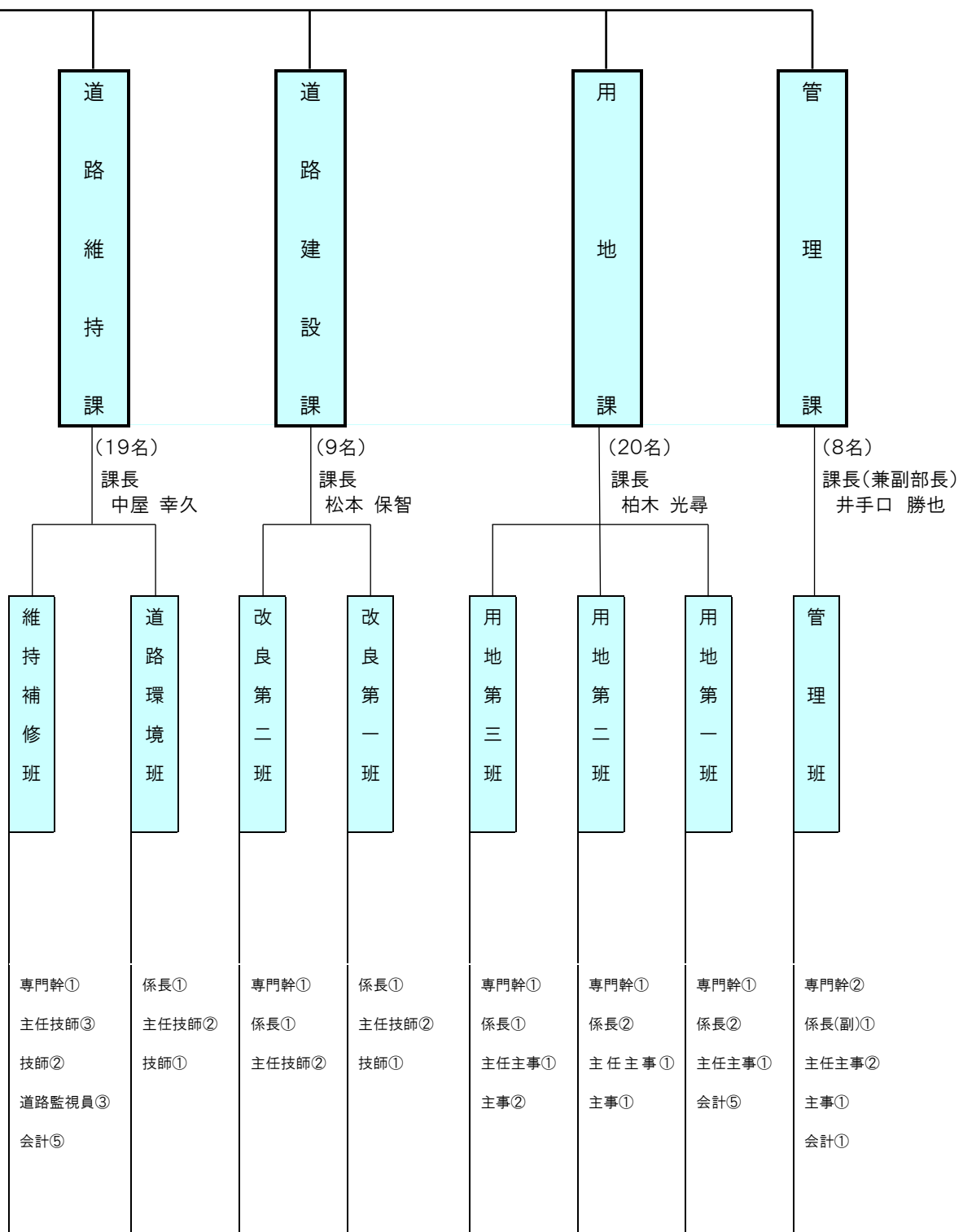
建設部職員数 105名（会任除く 88名）

（内訳）技 術 58名（内併任2）

事 務 27名（内併任4）

道路監視員 3名

会計年度任用職員 17名



4. 事務分掌

●長崎振興局建設部の各課・所の事務分掌 （令和7年4月1日現在）

(1) 管 理 課

- ① 道路・河川・海岸・急傾斜地崩壊危険区域・砂防指定地・地すべり防止区域などの占用、使用許可及び境界確認に関すること。
- ② 急傾斜地崩壊危険区域・砂防指定地・地すべり防止区域の指定に関すること。
- ③ 特殊車両の通行許可に関すること。
- ④ 屋外広告物に関すること。
- ⑤ 県民参加の地域づくり事業に関すること。
- ⑥ 建設リサイクル法（建築以外）に関すること。
- ⑦ 建設部内の調整に関すること。
- ⑧ 建設部の他課の所管に属さないこと。

(2) 用 地 課

- ① 公共用地取得及び移転物件等の補償に関すること。
- ② 補助事業に係る関係市町の用地、補償の指導に関すること。
- ③ 公共用地の登記に関すること。

(3) 道路建設課

- ① 高規格道路の建設に関すること。
- ② 国道及び県道の建設（道路改良、橋梁整備）に関すること。
- ③ 道路に関する調査、設計、工事執行及び監督に関すること（①②の事業に係るもの。）。
- ④ 市町道の国庫補助事業の指導監督に関すること。
- ⑤ 市町道の行政指導に関すること。

(4) 道路維持課

- ① 国道及び県道の建設（舗装補修、橋梁補修、電線類地中化、交通安全、災害防除及び自転車道）に関すること。
- ② 道路の維持管理に関すること。
- ③ 道路に関する調査、設計、工事執行及び監督に関すること（①の事業に係るもの。）
- ④ 市町道の国庫補助事業の指導監督に関すること。
- ⑤ 市町道の行政指導に関すること。
- ⑥ 道路施設の災害復旧事業等に関すること。
- ⑦ 自動車運輸事業の路線調査及び軌道に関すること。

(5) 河 川 課

- ① 河川、ダム等の施設（以下「河川等」という）の調査、設計、工事執行及び監督に関すること。
- ② 上記施設の維持及び管理に関すること。
- ③ 市町、公共組合及び私人の施行する河川等工事の指導監督に関すること。
- ④ 水利及び水防に関すること。

- ⑤ 公共土木施設に関する災害復旧事業等に関すること（他課の所管に属するものを除く）。
- ⑥ 市町の施行する災害復旧事業等の指導監督に関すること。

(6)砂 防 課

- ① 砂防、地すべり、急傾斜地等の施設（以下「砂防等」という）の調査、設計、工事執行及び監督に関すること。
- ② 上記施設の維持及び管理に関すること。
- ③ 市町の施行する砂防等工事の指導監督に関すること。
- ④ 土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域等」の指定に関すること。

(7)都市計画課

- ① 都市計画道路（街路）の整備、JR長崎本線連続立体交差事業に関すること。
- ② 駅前広場（浦上駅）の維持及び管理に関すること。（管理課の所管に属するものを除く。）
- ③ 市町都市計画事業の指導監督に関すること。

(8)建 築 課

- ① 建築基準法に基づく許可及び確認等に関すること。
 - ② 都市計画法に基づく開発許可制度に関すること。
 - ③ バリアフリー法及び福祉のまちづくり条例に基づく認定及び届出の受理に関すること。
 - ④ 建築物に係る建設リサイクル法に基づく届出の受理に関すること。
 - ⑤ 省エネ法に基づく届出の受理に関すること。
 - ⑥ 景観法の規定による届出・協議に関すること。
 - ⑦ 長期優良住宅法に基づく認定に関すること。
 - ⑧ 低炭素建築物の認定に関すること。
 - ⑨ 租税特別措置法の規定による認定に関すること。
 - ⑩ 住宅金融支援機構による災害住宅の審査及び報告に関すること。
- ※ なお、上記①～⑩については、長与町、時津町に限る。

(9)長与都市開発事業所

- ① 高田南土地区画整理事業に関すること。

(10)神浦ダム管理事業所

- ① 神浦ダムの維持管理に関すること。

5. 予 算

●事業別・年度別予算額

(令和7年4月1日現在)

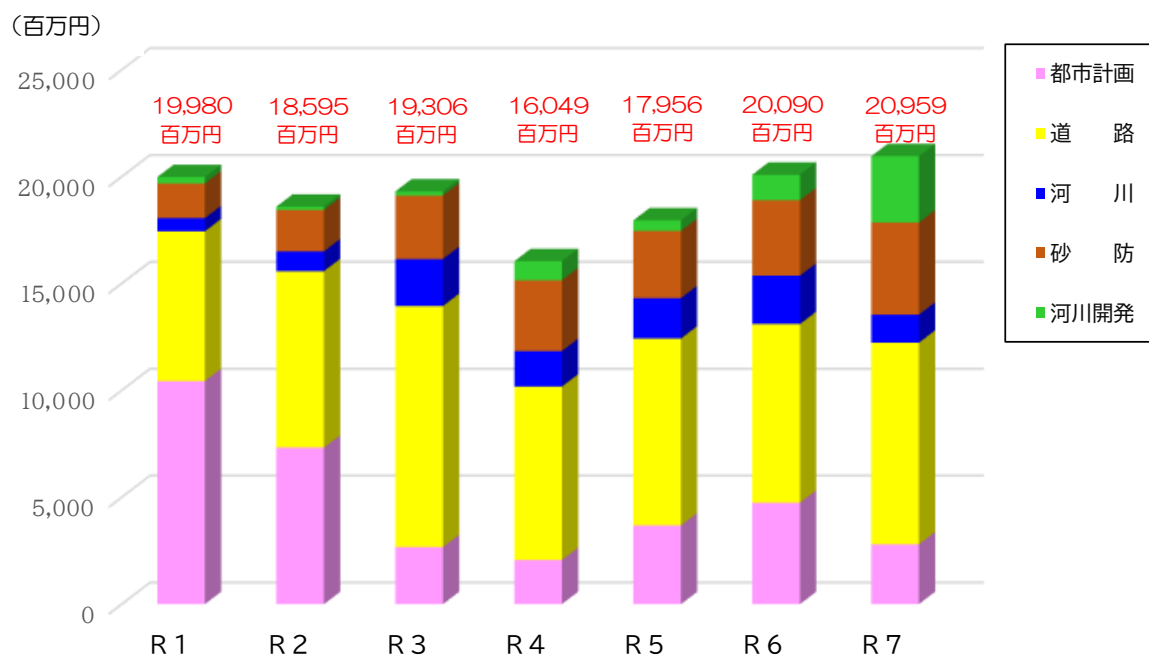
(事業費の単位:千円)

事業区分	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
都市計画	事業費	10,441,173	7,327,867	2,676,155	2,072,626	3,684,473	4,746,828	2,799,826
	構成比	52.3%	39.4%	13.9%	12.9%	20.5%	23.6%	13.4%
	対前年比	109.4	70.2	36.5	77.4	177.8	128.8	59.0
道 路	事業費	7,007,737	8,247,977	11,274,195	8,102,449	8,745,314	8,357,705	9,433,288
	構成比	35.1%	44.4%	58.4%	50.5%	48.7%	41.6%	45.0%
	対前年比	146.0	117.7	136.7	71.9	107.9	95.6	112.9
河 川	事業費	609,600	925,127	2,192,586	1,666,376	1,884,310	2,263,840	1,313,971
	構成比	3.1%	5.0%	11.4%	10.4%	10.5%	11.3%	6.3%
	対前年比	198.8	151.8	237.0	76.0	113.1	120.1	58.0
砂 防	事業費	1,624,288	1,939,149	2,975,843	3,311,675	3,148,975	3,528,200	4,304,673
	構成比	8.1%	10.4%	15.4%	20.6%	17.5%	17.6%	20.5%
	対前年比	163.3	119.4	153.5	111.3	95.1	112.0	122.0
河川開発	事業費	296,879	155,000	186,798	896,000	493,000	1,193,000	3,107,434
	構成比	1.5%	0.8%	1.0%	5.6%	2.7%	5.9%	14.8%
	対前年比	118.2	52.2	120.5	479.7	55.0	242.0	260.5
合 計	事業費	19,979,677	18,595,120	19,305,577	16,049,126	17,956,072	20,089,573	20,959,192
	構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	対前年比	125.7	93.1	103.8	83.1	111.9	111.9	104.3
	前年度との差	—	-1,384,557	710,457	-3,256,451	1,906,946	2,133,501	869,619

注:各年度の金額には、前年度補正予算を含む

●年度別事業費の推移

(令和7年4月1日現在)



大型事業の推移

(単位:千円)

事業名(路線・工区)	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
長崎水害緊急ダム事業(浦上ダム)	120,000	155,000	186,798	896,000	493,000	1,193,000	1,470,000
JR長崎本線連続立体交差事業	9,486,500	5,783,053	20,900	98,024	1,260,981	1,962,604	0
西彼杵道路 一般県道奥ノ平時津線 (時津工区)	2,992,500	2,992,500	2,088,500	1,000,000	0	0	0
主要地方道長崎南環状線 (新戸町～江川町工区)	504,000	1,189,650	3,707,550	1,202,650	2,475,900	3,468,150	4,491,900
長崎南北幹線道路 (都)長崎時津縦貫線(茂里町～滑石工区)	0	0	0	840,000	840,000	291,901	1,349,250
合 計	13,103,000	10,120,203	6,003,748	4,036,674	5,069,881	6,915,655	7,311,150

注:各年度の金額には、前年度補正予算を含む

- ・都市計画道路浦上川線や伊王島大橋などの大型事業の完了後の約80億円を下限に、平成25年度の長崎鉄道高架整備事務所統合後は、JR長崎本線連続立体交差事業費が追加されたことから増加傾向となり、令和元年度、JR長崎本線連続立体交差事業がピークを迎えたこと等で約200億円が配分された。
- ・令和7年度の予算は、令和6年度の補正予算と合わせ約210億円で、主要地方道長崎南環状線(新戸町～江川町工区)、長崎南北幹線道路(都)長崎時津縦貫線(茂里町～滑石工区)や長崎水害緊急ダム建設事業(浦上ダム)が増加している。
- ・予算の事業区分ごとの割合は、道路改良事業等の整備や歩道整備、防災事業の推進のための道路予算が全体の約45%、次いで河川改修やダム改築などの河川予算と砂防・急傾斜及び地すべり対策などの砂防予算が約21%、街路事業などの都市計画予算が約13%となっている。

6. 事業等年表

●長崎振興局建設部の主な出来事

年・月	主 な 出 来 事	年・月	主 な 出 来 事
42 11	・長崎バイパス開通	10 3	・陣の内川住宅宅地関連砂防工事完成 (長崎市)
43 2	・長崎市と香焼町が陸続きに	10 10	・県道長崎野母崎自転車道線全線供用 開始(長崎市～野母崎町(全長20.7km))
55 5	・式見ダム完成(長崎市)	11 3	・飽の浦トンネル供用開始 (一般国道202号、長崎市)
56 4	・黒浜トンネル供用開始(一般国道499 号、野母崎町)	12 5	・都市計画道路小ヶ倉蛭茶屋線(出雲工 区)開通(長崎市)
	・県道の一部が国道207号に昇格 (多良見町)	13 2	・西山ダム完成(長崎市)
57 1	・旭大橋開通 (都市計画道路旭大橋線、長崎市)	9 9	・中尾ダム完成(長崎市)
	・長崎大水害発生 (死者295人、行方不明4人)	14 3	・一般国道206号、時津町左底工区完 成
	・長崎自動車(長崎～大村間17km)開通	15 3	・伊王島町公共下水道完成 (過疎市町村代行事業)
58 10	・眼鏡橋復元	16 3	・宮崎ダム完成(三和町)
	・黒浜ダム完成(野母崎町)	17 1	・新長崎市合併施行(長崎市、香焼町、伊 王島町、高島町、野母崎町、三和町及び 外海町)
60 1	・中山ダム完成(時津町)		・新諫早市合併施行 (諫早市、多良見町、森山町、飯盛 町、高来町及び小長井町)
	・樺島大橋供用開始 (樺島港脇岬線、野母崎町)	3 12	・女神大橋開通(長崎市)
	・矢上大橋有料道路開通	18 1	・新長崎市合併施行(長崎市、琴海町)
	・長与ダム完成(長与町)	10 10	・都市計画道路小ヶ倉蛭茶屋線(田上工 区)完成(長崎市)
61 3	・57 災河川災害関連事業完成 (県11河川、市町村23河川)	19 3	・一般国道206号(時津町日並工区)供 用(時津町)
62 3	・長崎大水害砂防関係事業完成 砂防施設 ダム 80基 中島川水系 沈砂池 1基 御手水川 流路工 32箇所 外113箇所 山腹工 1箇所 緊急急傾斜崩壊対策事業 川平(1)地区外 153地区 激特地すべり対策事業 茂木地区外 9地区	3 3	・香焼トンネル供用(一般県道伊王島香 焼線、長崎市)
63 3	・57 災河川災害助成事業完成 (県5河川)	20 3	・都市計画道路浦上川線(元船工区、尾 上工区)暫定供用開始(長崎市)
	・鹿尾ダム完成(長崎市)	12 12	・高浜ダム完成(長崎市)
	・川平有料道路(暫定)・長崎漁港臨港道 路開通	21 9	・中島川(中央橋架替工事施工) 完成 (長崎市)
1 3	・脇岬港岬地区ふ頭完成(野母崎町)	22 11	・都市計画道路浦上川線全線供用開始 (長崎市)
3 3	・長崎バイパス2期工事(4車線拡幅) 完了	23 3	・伊王島大橋開通(長崎市)
		25 10	・本河内ダム完成(長崎市)
4 4	・川平有料道路全面開通	26 3	・片峰橋開通(主要地方道野母崎宿線・ 飯香浦工区、長崎市)
	・主要地方道長崎野母港線の一部が一 般国道499号に昇格	29 2	・立石トンネル供用(主要地方道野母崎 宿線・茂木工区、長崎市)
6 2	・鳴見ダム完成(長崎市)	2 3	・JR長崎本線高架化並びに、新たな長 崎駅、浦上駅の運用開始
	・松ノ頭トンネル供用開始(主要地方道 長崎多良見線、長与町、多良見町)	5 2	・一般県道奥ノ平時津線(時津工区) 供 用開始
7 3	・高浜バイパス完成 (一般国道499号、野母崎町)		
9 3	・梁川橋完成(都市計画道路目覚町油木 町天主堂線、長崎市)		
	・脇岬港海岸保全事業完成(野母崎町)		

●過去の主要事業

●一般県道奥ノ平時津線(時津バイパス)〈令和5年2月完成〉

【事業概要】

事業区間:西彼杵郡時津町日並郷～野田郷

事業延長:3,400m

幅員:陸上部 7.0(10.5)m

トンネル部 7.0(10.5)m

主要構造物:時津トンネル 1,728m

野田高架橋 190m

事業期間:平成26年度～令和4年度



時津トンネル



野田高架橋



●本河内高部ダム、本河内低部ダム〈平成25年9月完成〉

【事業概要】

事業位置:長崎市本河内町

型式:高部:重力式コンクリートダム

低部:重力式コンクリートダム、上流増厚改造形式

堤高:高部:28.2m、低部:27.8m

堤頂長:高部:158.0m、低部:118.8m

堤体積:高部:47,000m³、低部:32,000m³

平成25年度 ダム工学会賞
技術賞を受賞

平成26年度 全建賞を受賞



本河内高部ダム



本河内低部ダム

●一般県道伊王島香焼線・伊王島大橋〈平成23年3月完成供用〉

【事業概要】

事業区間:長崎市伊王島2丁目町～香焼町安保

事業延長:2,700m

幅員:橋梁部 5.5m(8.0m)

陸上部 6.0m(10.0m)

主要構造物:伊王島大橋 876m

香焼トンネル 603m

栗ノ浦高架橋 69m

事業期間:平成9年度～平成22年度



7. 主要事業

建設部においては、限られた予算を有効に活用し、県都にふさわしい魅力的で活力ある輝く地域づくりを推進するため、「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ 2025」の実現に積極的に取り組んでいる。

重点目標として、地域間交流や県民の日常生活の安全性・利便性・快適性の向上を図るため、高規格道路などの高速交通ネットワークの構築や地域の幹線道路である国道・県道と街路事業の整備を推進している。また、交流を支える地域創出するためJR長崎本線の連続立体交差事業を推進している。

さらに、県民の安全・安心を確保し、快適さを創り出すため、洪水・土砂・道路災害防止対策工事の整備を促進し、自然災害等に強い県土づくりや公共施設の適切な維持管理に取り組むこととしている。

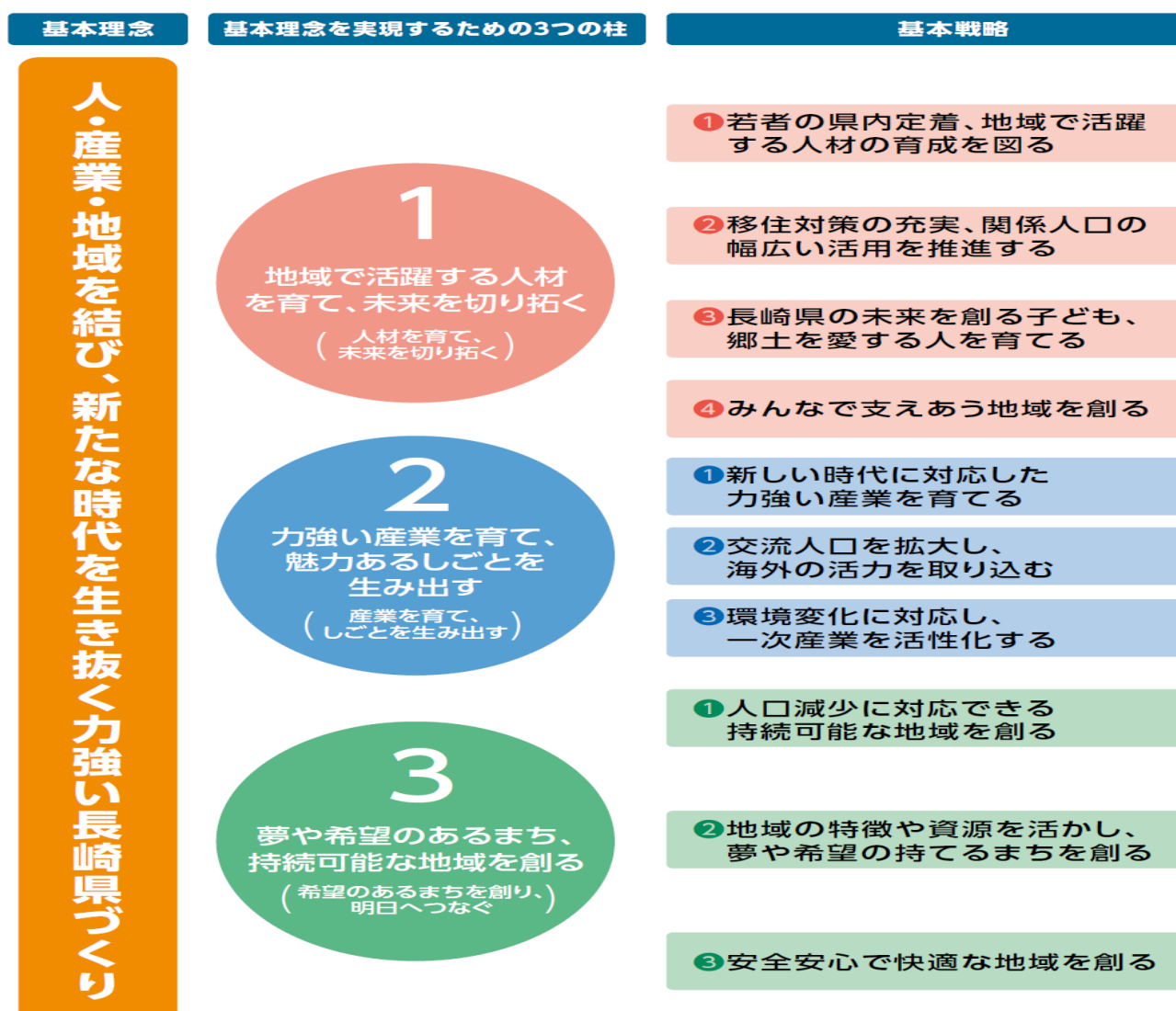
●長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ 2025と土木部の基本方針

○長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ 2025

本県が行ってきたこれまでの取組によって、移住者の増加や企業誘致による雇用創出など幅広い成果につながっているが、本県をとりまく社会経済情勢は大きく変化しているとともに、将来に様々な課題が予想され、引き続き県民と一緒に長崎の未来を切り拓いていく必要がある。

県民がふるさと長崎県を誇りに思えるような将来像を示しながら長期的な視点で計画的に長崎県づくりを進めていくため、今後の県政運営の指針や考え方を県民にわかりやすく示した総合計画を策定した。

基本理念である「人・産業・地域を結び、新たな時代を生き抜く力強い長崎県づくり」の実現に向けて、10の基本戦略を掲げ各分野の施策に取り組むこととしている。



○土木部の基本方針

土木部では、基本理念の実現のため、以下の基本戦略を積極的に推進し、より魅力的で活力あるたくましい長崎県づくりに取り組む。

長崎振興局建設部においても、以下に示す事業の推進を図っている。

若者の県内定着、地域で活躍する人材の育成を図る

- ◎将来を担う若者の就業支援と魅力的な職場づくりの促進
- ◎いつまでも健康で生涯を通じて学び、活躍できる社会の実現

みんなで支えあう地域を創る

- ◎誰もが安心して暮らし、社会参加できる地域共生社会の推進
- ・交通安全施設等整備事業

新しい時代に対応した力強い産業を育てる

- ◎戦略的、効果的な企業誘致の推進
- ・高規格道路（長崎南環状線・長崎南北幹線道路など）
- ・道路改良事業（国道・県道）

交流人口を拡大し、海外の活力を取り込む

- ◎アジアをはじめとした海外活力の取り込み

人口減少に対応できる持続可能な地域を創る

- ◎持続可能なインフラの整備及び利活用
- ・橋梁補修事業 ・舗装補修事業

地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る

- ◎人流・物流を支える交通ネットワークの確立
- ・高規格道路（長崎南環状線・長崎南北幹線道路など）
- ・道路改良事業（国道・県道）
- ◎持続可能で魅力ある都市・地域づくり
- ・JR長崎本線連続立体交差事業 ・街路事業
- ・土地区画整理事業

安全安心で快適な地域を創る

- ◎犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進
- ・交通安全施設等整備事業
- ◎災害に強く、命を守る強靱な地域づくり
- ・河川事業 ・ダム事業
- ・急傾斜・地すべり・砂防事業 ・土砂災害防止法による区域指定
- ・道路災害防除事業 ・橋梁補修事業
- ・無電柱化推進事業

(1) 道路事業

●（令和3年策定 長崎県の道づくり基本方針（R3～R7）より）

道路事業では、長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ 2025 の基本理念のもと、今後5年間の基本方針を定め、地域の課題解決に取り組む。

長崎県の道づくり基本方針（R3～R7）

人口減少や少子高齢化、低迷する県民所得など本県を取り巻く厳しい社会情勢に加え、近年の激甚化・頻発化する自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大などの新たな課題等の克服に向けて「人・産業・地域を結び、新たな時代を生き抜く力強い長崎県」の道づくりに取り組みます。

- 力強い産業の育成や交流人口の拡大等による地域活性化を図り、強靱な県土づくりを進めていくため、物流・人流を支える道路ネットワークである**高規格道路を重点的に整備**します。
- 安全・安心で持続可能な魅力ある地域づくりを目指し、局所的な改良や交通安全対策、長寿命化のための戦略的なメンテナンスなど**県民生活に密着した道路の整備・維持管理を計画的に推進**します。

1 産業を支える道路ネットワークづくり

施策1 物流を支える高規格道路ネットワークの構築

2 交流人口を拡大する道路ネットワークづくり

施策2 人流を支える各種交通機関と連携した道路ネットワークの構築

3 安全・安心で快適な道づくり

- 施策3-1 強靱な県土づくりに向けた道路防災対策
- 施策3-2 安全・安心な歩行空間の整備
- 施策3-3 低酸素社会に向けた交通円滑化対策

4 人口減少に対応し、持続可能な社会を支える道づくり

- 施策4-1 中枢都市や生活拠点との連絡を強化する道路整備
- 施策4-2 救急医療体制の支援
- 施策4-3 戦略的な道路の維持管理
- 施策4-4 道路交通分野におけるDXの推進

5 魅力ある道路環境づくり

- 施策5-1 道路空間の有効活用
- 施策5-2 環境の保全・景観の形成

＜今後の道路行政の進め方＞

1. 効率的な事業推進

- ・選択と集中の推進、ライフサイクルコストの縮減
- ・事業評価を3段階（事業の導入時、期間中、完了後）で実施

2. 県民に対する説明責任の徹底

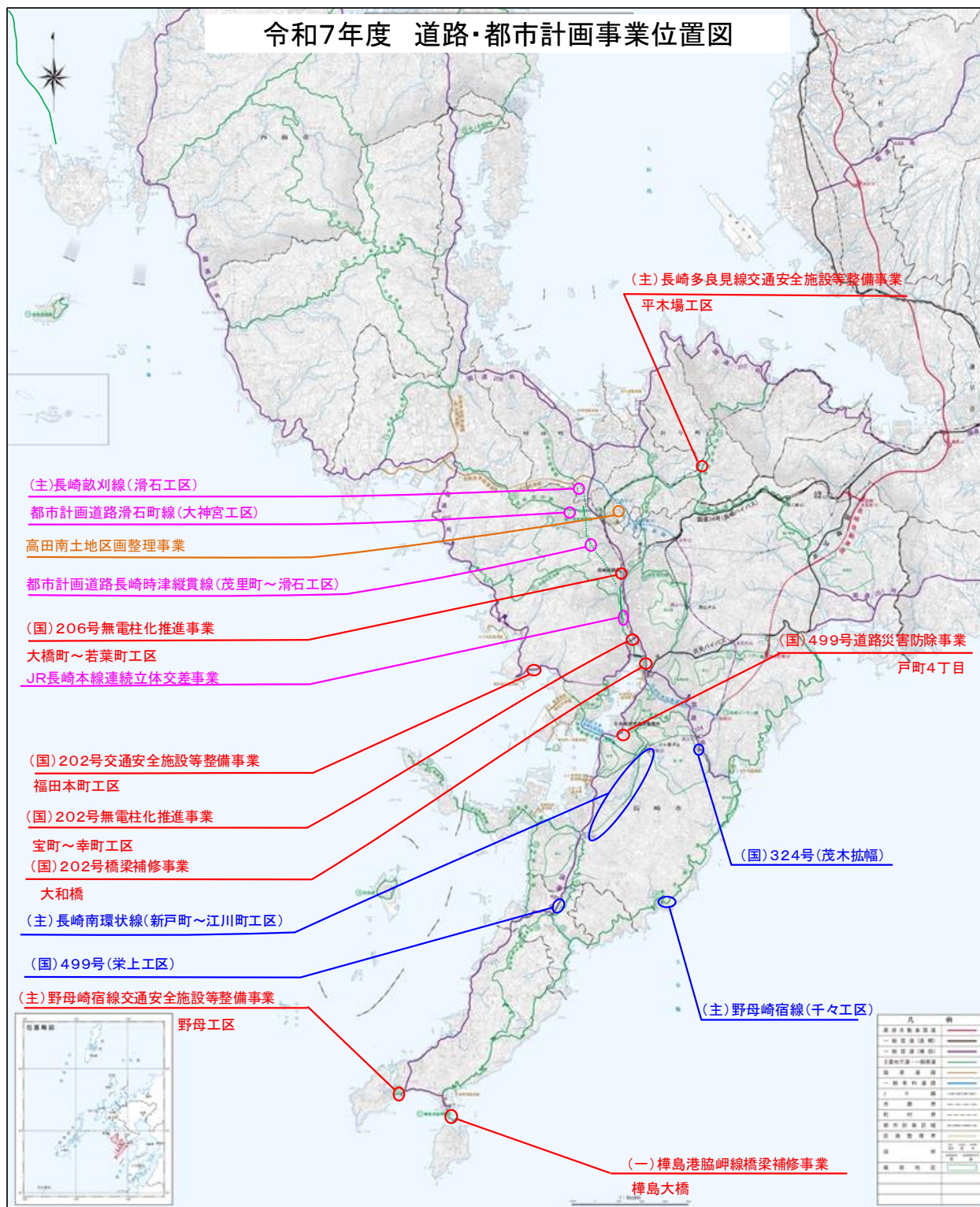
- ・道路計画の決定手続きの透明性・客観性・合理性・公正性を確保するための県民説明の実施

3. 県民との協働の推進

- ・地域住民のニーズを道路計画に反映させるPIやオープンハウスなどの手法導入



写真 オープンハウスの様子



●道路改良事業【高規格幹線道路・高規格道路の整備による高速交通ネットワークの構築】

観光の振興、企業立地の促進や物流の効率化には、地域間の時間短縮、定時性の確保やミッシングリンク※の解消が課題である。このため、地域の交流促進や連携強化に有効な高規格幹線道路や高規格道路など、規格の高い道路の重点的な整備を推進している。

※ミッシングリンク：高規格幹線道路等のうち未整備区間で途中で途切れている区間のこと

<令和7年度の主要事業>

路線名	工区	事業 種別	整備概要	
			全体	令和7年度
① 主要地方道 長崎南環状線	長崎市 新戸町～江川町 工区	高規格 道路	L=5,150m W=6.5(10.0)m 平成28年度～	用地取得 工事
② 長崎南北幹線道路 都市計画道路 長崎時津縦貫線	長崎市 茂里町～滑石2丁目 (茂里町～ 滑石工区)	高規格 道路	L=5,300m W=12.0～18.0m 令和4年度～	調査 設計 用地取得
③ ICアクセス道路 主要地方道 長崎畝刈線	長崎市滑石2丁目～ 西彼杵郡 時津町野田郷 滑石工区	道路改築	L=1,400m W=6.5(8.0)m 令和5年度～	調査 用地取得

●道路改良事業【生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充】

昨今の道路整備には、異常気象や少子高齢化、さらには、道路構造物の老朽化など多様な対応が求められている。このため、県民の安全で安心かつ快適な暮らしを確保する国県道の整備を計画的に推進している。

<令和7年度の主要事業>

路線名	工区	事業 種別	整備概要	
			全体	令和7年度
④ 一般国道499号	長崎市 栄上拡幅	道路 拡幅	L=1,300m W=13.0(22.0)m 平成20年度～	用地取得 工事
⑤ 一般国道324号	長崎市 茂木拡幅	道路 拡幅	L=140m W=6.0(7.5)m 令和5年度～	用地取得 工事
⑥ 主要地方道 野母崎宿線	長崎市 千々工区	バイパス	L=1,150m W=5.5(9.25)m 令和4年度～	用地取得
⑦ 都市計画道路 滑石町線	長崎市 滑石2丁目 (横道工区)	道路 改築	L=580m W=30.0m 平成13年度～平成25年度	平成25年度 完了
	長崎市 滑石2丁目～4丁目 (大神宮工区)	道路 改築	L=850m W=30.0m 平成23年度～令和8年度	工事

① 主要地方道長崎南環状線

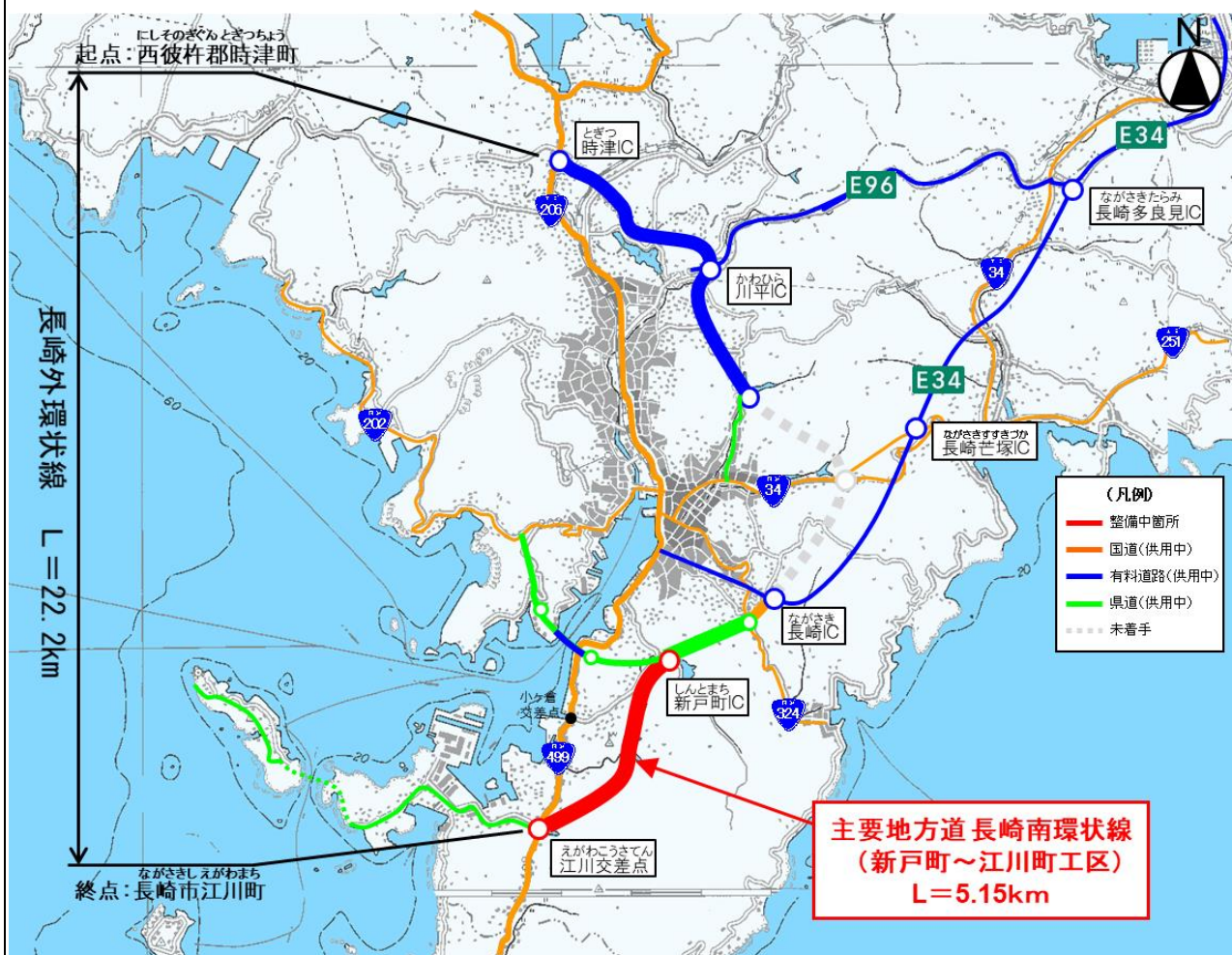
長崎市新戸町～江川町

●路線及び整備概要

主要地方道長崎南環状線(新戸町～江川町工区)は、新戸町インターチェンジを起点とし、長崎市江川町を終点とする自動車専用道路であり、高速道路と一体となって広域ネットワークを形成する路線である。

当該区間の整備により、長崎南部地域と県内外の各地域とをつなぎ、重要港湾である長崎港と長崎自動車道(長崎 IC)とのアクセス強化による物流生産性の向上や、幹線道路である国道 499 号の渋滞緩和、交通事故多発交差点である江川交差点及び小ヶ倉交差点の安全性向上などが期待される。

●事業区間位置図



●工区の概要

新戸町～江川町工区

事業推進中

【事業の諸元】

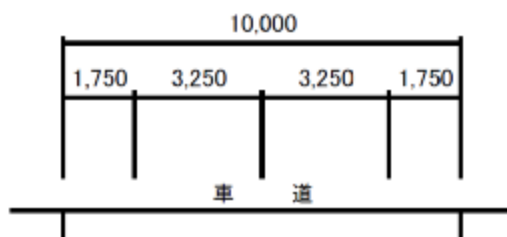
事業区間: 長崎市上戸町 4 丁目～江川町

道路区分: 1 種 4 級

設計速度: 60 km/h

計画延長: 5,150 m

標準断面:



一般国道 499 号の渋滞状況

② 長崎南北幹線道路 都市計画道路 長崎時津縦貫線

長崎市茂里町～滑石2丁目

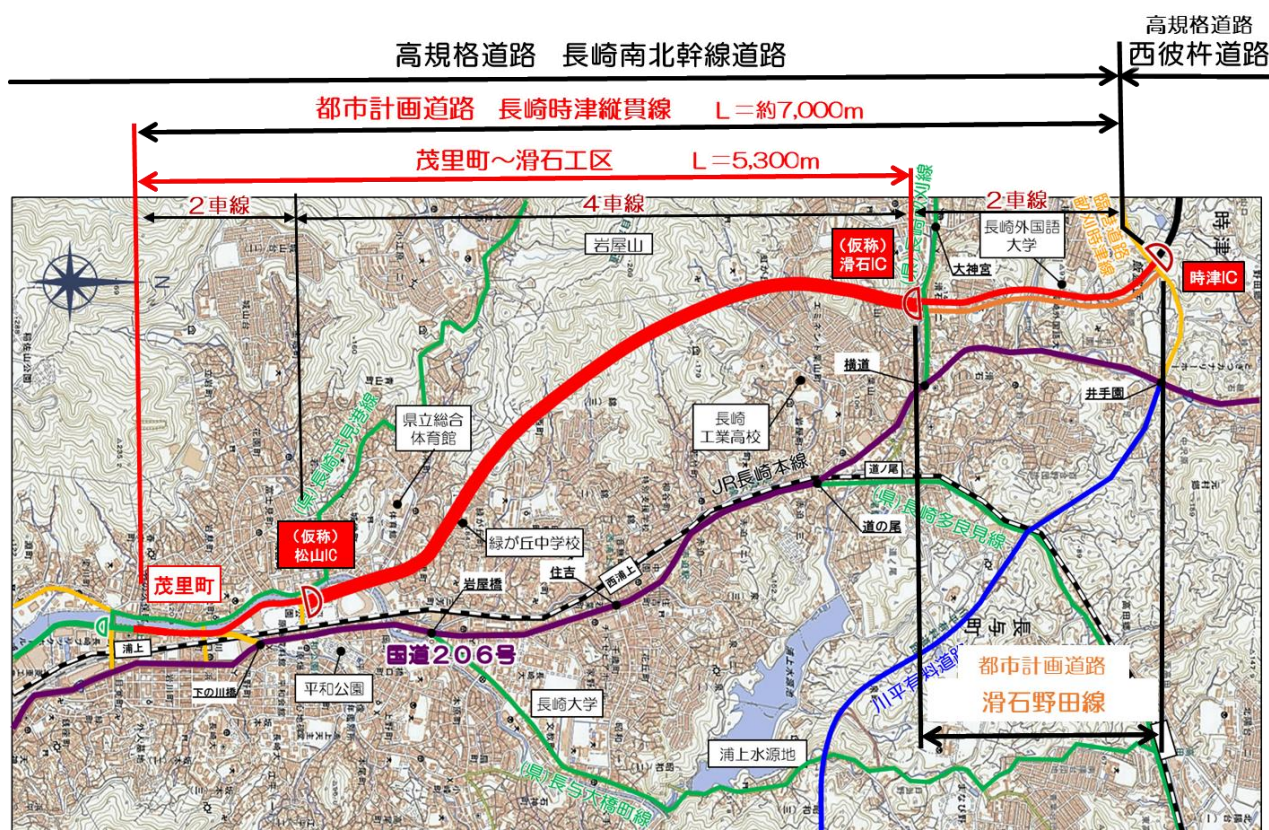
●路線及び整備概要

長崎南北幹線道路は、西彼杵道路と一体となって長崎～佐世保間を1時間で結ぶ高規格道路であり、これまでにながさき出島道路と(都)浦上川線の約7.1kmを供用している。

長崎南北幹線道路の未整備区間である長崎市茂里町から西彼杵郡時津町野田郷までの約7.0kmについて、令和3年11月に(都)長崎時津縦貫線として都市計画決定され、そのうち長崎市茂里町から長崎市滑石2丁目までの5.3kmの区間(茂里町～滑石工区)が、令和4年度に補助事業として採択された。

本工区の整備により、長崎市北部唯一の幹線道路である一般国道206号のリダンダンシーを確保し、市内の慢性的な渋滞緩和や事故リスク低減を図ることができる。

●事業区間位置図



●工区の概要

茂里町～滑石工区

事業推進中

【事業の諸元】

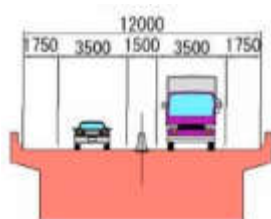
事業区間:長崎市茂里町～滑石2丁目

道路区分:2種1級(自動車専用道路) 設計速度:60km/h

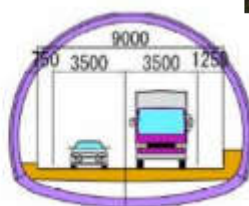
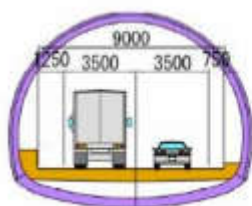
計画延長:5,300m

標準断面図:下図のとおり

2車線部のうち橋梁部



4車線部のうちトンネル部



渋滞を避けて通行する救急車両
(国道206号松山町付近)

③ 主要地方道長崎畝刈線

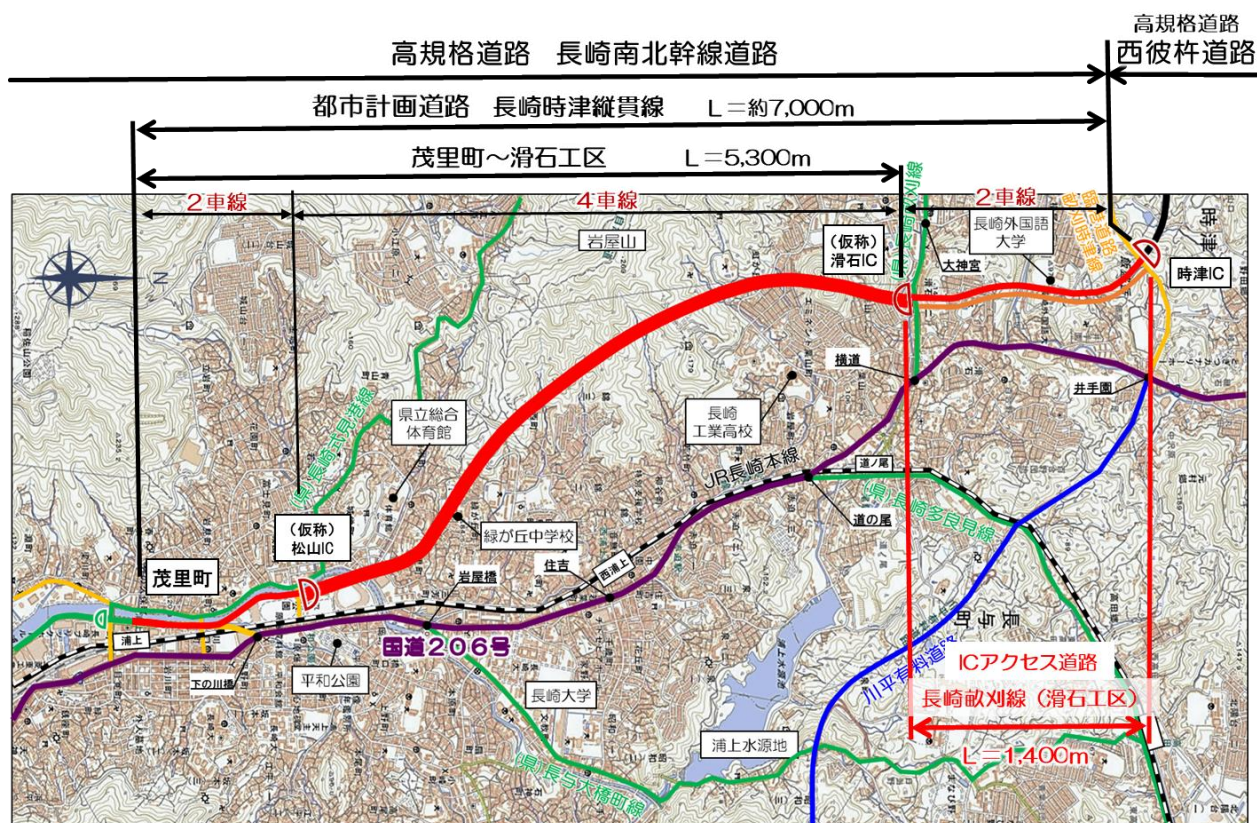
長崎市滑石2丁目～西彼杵郡時津町野田郷

●路線及び整備概要

主要地方道長崎畝刈線(滑石工区)は、高規格道路長崎南北幹線道路の一部である都市計画道路長崎時津縦貫線に並行し、長崎南北幹線道路の(仮称)滑石ICと高規格道路西彼杵道路の時津IC間を結ぶアクセス道路である。

本工区の整備により、(仮称)滑石ICへの流入・流出する交通流を円滑に処理することで、地域間の物流や生活拠点のネットワーク強化、災害時の代替路を確保するものである。

●事業区間位置図



●工区の概要

滑石工区

事業推進中

【事業の諸元】

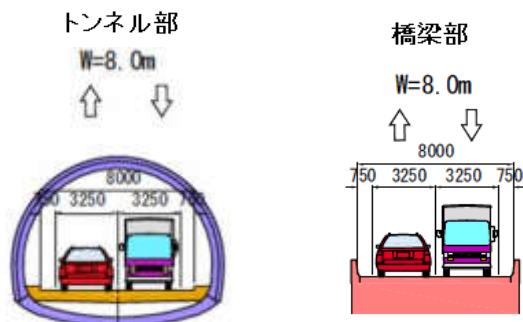
事業区間: 長崎市滑石2丁目～西彼杵郡時津町野田郷

道路区分: 3種2級

設計速度: 60 km/h

計画延長: 1,400 m

標準断面: 下図のとおり



一般国道206号(時津方面)の混雑状況

④ 一般国道499号

長崎市平山町～黒浜町

●路線及び整備概要

一般国道 499 号は長崎市中心部と市南部地域を結ぶ重要な幹線道路であり、生活道路及び産業道路として重要な役割を担う路線である。しかしながら、交通渋滞の発生、歩道の未整備等、利便性・快適性や安全性の向上といった課題を抱えている。

これに対し、線形の改良及び幅員の確保を目的として道路改良を進めており、平成 22 年度に竿浦拡幅、平成 23 年度に蚊焼拡幅、令和 3 年度に岳路工区が供用開始しており、栄上拡幅についても供用開始に向けて整備を推進している。

●事業区間位置図



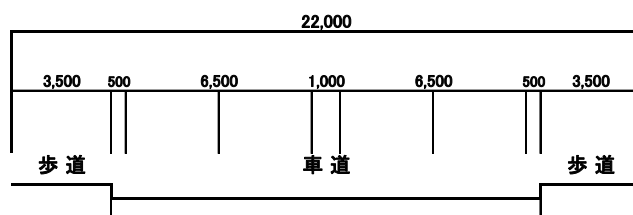
●工区の概要

栄上拡幅

事業推進中

【事業の諸元】

事業区間：長崎市平山町～布巻町
道路区分：4 種 Ⅰ 級 設計速度：40 km/h
計画延長：1,300 m
標準断面：



現在の状況

岳路工区 (令和 3 年度完成)



⑤ 一般国道324号

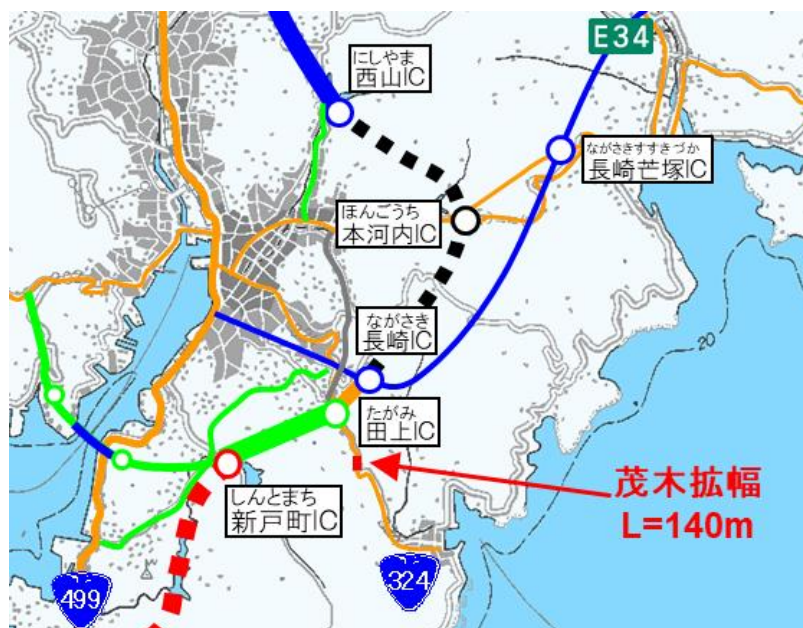
長崎市茂木町

●路線及び整備概要

一般国道324号は、長崎市中心部と茂木町を結ぶ重要な幹線道路であり、地域住民の生活道路や産業道路として重要な役割を担うとともに、緊急輸送道路にも指定されている。

このうち、当該区間は急カーブで見通しが悪く、幅員狭小で円滑な交通に支障をきたしていることから、安全安心な生活道路の確保及び緊急輸送道路の機能強化を図ることを目的に事業を進めている。

●事業区間位置図



●工区の概要

茂木拡幅

事業推進中

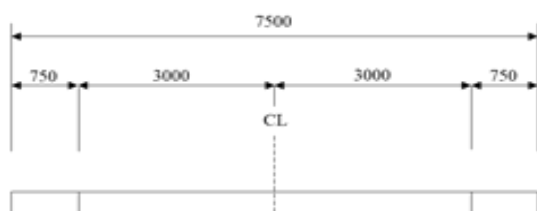
【事業の諸元】

事業区間：長崎市茂木町

道路区分：3種3級 設計速度：30 km/h

計画延長：140 m

標準断面：



大型車の離合困難状況

⑥ 主要地方道野母崎宿線

長崎市網場町～千々町

●路線及び整備概要

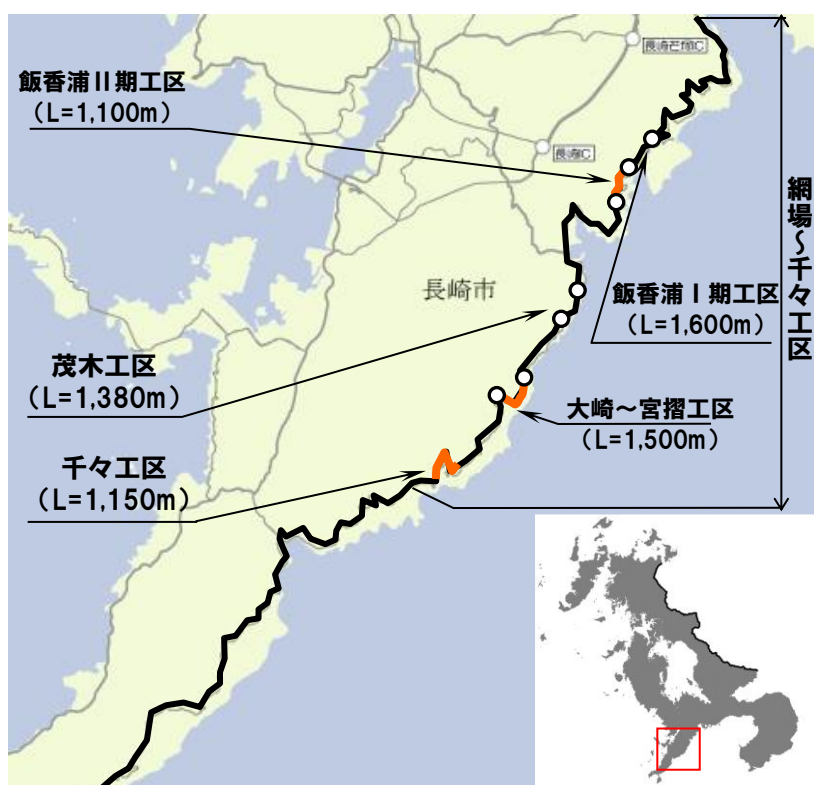
主要地方道野母崎宿線は、長崎半島の東側を縦断する幹線道路であるが、幅員が狭小であり、線形も屈曲し見通しが悪いため、大型車の離合が非常に困難な状況である。

また、当該路線は過去に災害が頻発し、交通止めを余儀なくされ、集落の孤立が生じるなどの問題を抱えている。

このような状況の中、災害に強い、円滑で安全な道路づくりを目指し、飯香浦Ⅱ期工区、大崎～宮摺工区及び千々工区の整備を進めている。

また、網場～千々工区においては、平成25年度に飯香浦Ⅰ期工区を、平成28年度に茂木工区をそれぞれ供用開始している。

●事業区間位置図



●工区の概要

千々工区

事業推進中

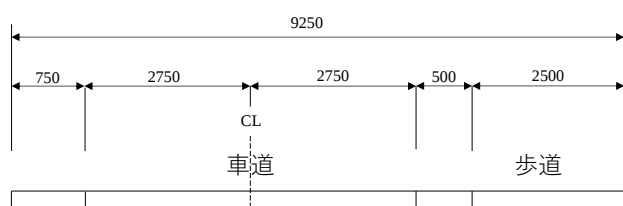
【事業の諸元】

事業区間：長崎市千々町

道路区分：3種4級 設計速度：30 km/h

計画延長：1,150 m

標準断面：



現在の状況



平成18年9月の豪雨による旧道の被災状況



平成29年2月に供用開始した茂木工区

長崎市を南北に縦貫する一般国道 206 号横道交差点から長崎市北部の大型ベッドタウンである滑石団地を經由し、新長崎漁港のある畝刈地区を結ぶ主要地方道 長崎畝刈線のうち、横道交差点から約 1,800mの区間を都市計画道路 滑石町線として都市計画決定している。

滑石2丁目付近においての自動車交通量が約 19,496 台/日 (R3 観測)と非常に多いため、片側 1 車線の道路では朝夕のラッシュ時に交通混雑が生じている。また、約 500 台/日のバスが通る路線でもあるため、度重なるバスの停車が車両通行を阻害し、交通混雑の一因となっている。

このようなことから、片側2車線の確保や広幅員の歩道、バスベイの設置を行うなど、安全で快適な道路環境の形成を図るため、横道交差点から延長 1,430mの区間の整備を進めている。

このうち、『横道工区』(580m)については、平成 25 年 12 月 7 日に4車線での供用を開始し、引き続き、『大神宮工区』(850m)について整備を進めている。



横道工区の供用状況



大神宮工区の施工状況

●交通安全施設等整備事業等

事業種別	工区	工事箇所	整備概要	
			全体	令和 7 年度
交通安全施設等整備事業	一般国道202号 福田本町工区	長崎市 福田本町	L = 770m W = 6.0(12.0)m 平成 24 年度～令和 7 年度	工 事
	主要地方道 長崎多良見線 平木場工区	西彼杵郡 長与町 平木場郷	L = 650m W = 6.0(9.75)m 平成 30 年度～令和 9 年度(予定)	用地取得 工 事
道路災害防除事業	一般国道499号	長崎市 戸町 4 丁目	L = 111m W = 9.0(16.0)m 令和 7 年度～令和 8 年度(予定)	工 事
橋梁補修事業	一般県道 樺島港脇岬線 樺島大橋	長崎市 脇岬町	L = 150.0m W = 5.5(8.5)m R4 年度～R8 年度(予定)	工 事
無電柱化推進事業	一般国道206号 大橋町～若葉町	長崎市 大橋町～ 若葉町	L = 1,080(2,160)m 平成 29 年度～令和 8 年度(予定)	工 事
	一般国道202号 宝町～幸町	長崎市 宝町～ 幸町	L = 280(560)m 令和 4 年度～令和 9 年度(予定)	工 事

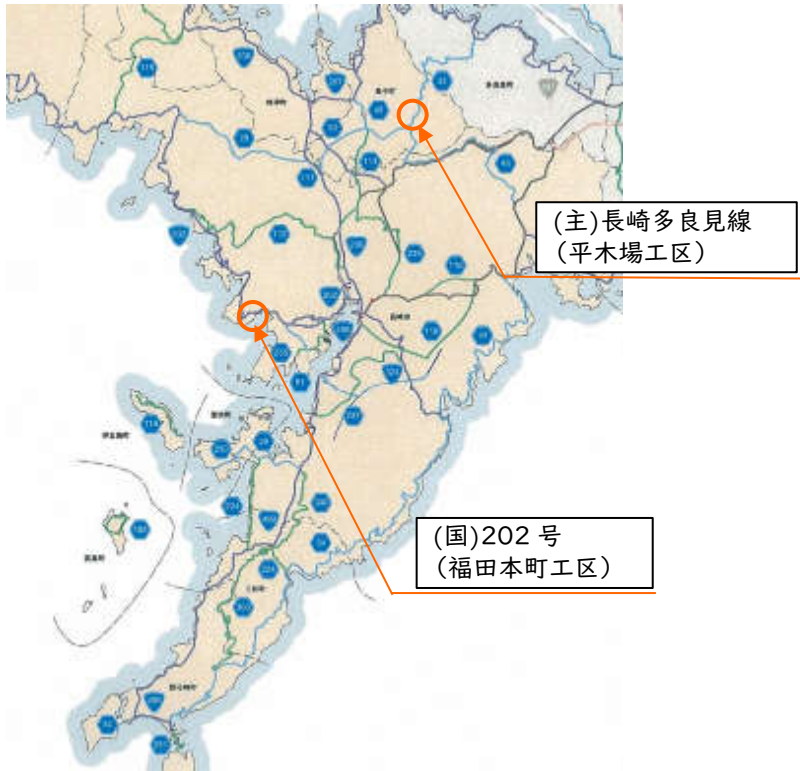
①交通安全施設等整備事業

【交通安全確保に向けた通学路等の整備】

●目的

安全で安心できる生活環境を確保するため、事故危険箇所における交差点改良や通学路や公共施設周辺などの歩道必要区間における歩道整備を行う。

●事業区間位置図



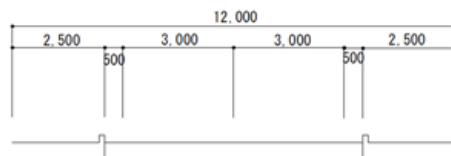
●各工区の概要

一般国道 202 号 福田本町工区

事業推進中

【事業の諸元】

事業区間:長崎市福田本町
延長:770 m
幅員:6.0(12.0) m
着工年度:平成 24 年度
完成年度:令和 7 年度(予定)
事業内容:歩道整備
標準断面:



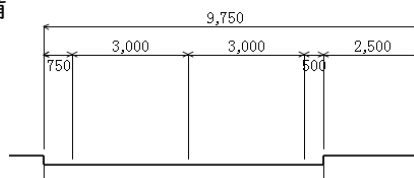
通学状況(整備前)

主要地方道長崎多良見線 平木場工区

事業推進中

【事業の諸元】

事業区間:西彼杵郡長与町平木場郷
延長:650 m
幅員:6.0(9.75) m
着工年度:平成 30 年度
完成年度:令和 9 年度(予定)
事業内容:歩道整備
標準断面:



現状(整備前)

②道路災害防除事業

【インフラの戦略的な維持管理、更新の推進】

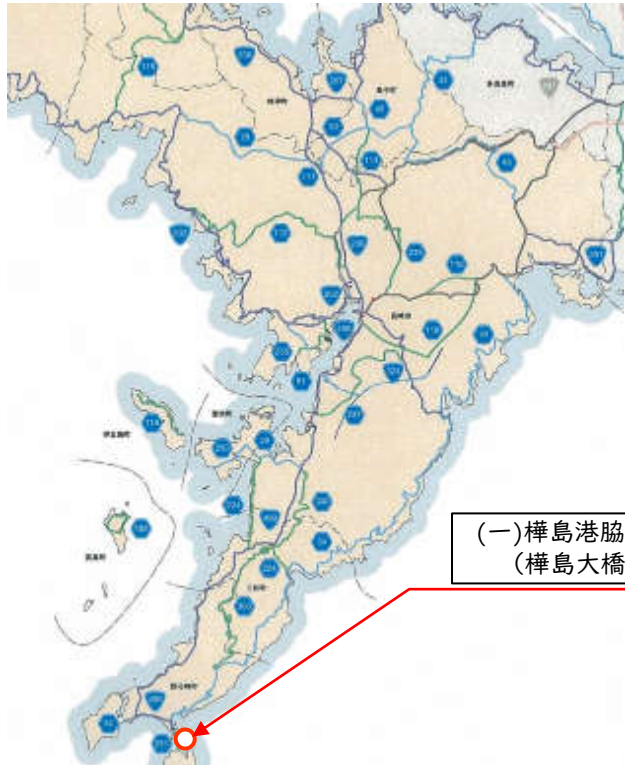
【地震、大雨、台風、高潮などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進】

●目的 地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とし、「道路防災事業計画」に基づき、予算の平準化を図りつつ計画的かつ効率的に防災対策を実施する。	●事業区間位置図  (国)499号長崎市戸町4丁目 (法面落石対策)
●各工区の概要 一般国道499号 事業推進中	
【事業の諸元】 事業箇所：長崎市戸町4丁目 事業内容：法面落石対策（落石防護柵工） 着工年度：令和7年度 完成年度：令和8度（予定） 計画延長：111m 幅員：9.0(16.0)m	 現 況

③橋梁補修事業

【インフラの戦略的な維持管理、更新の推進】

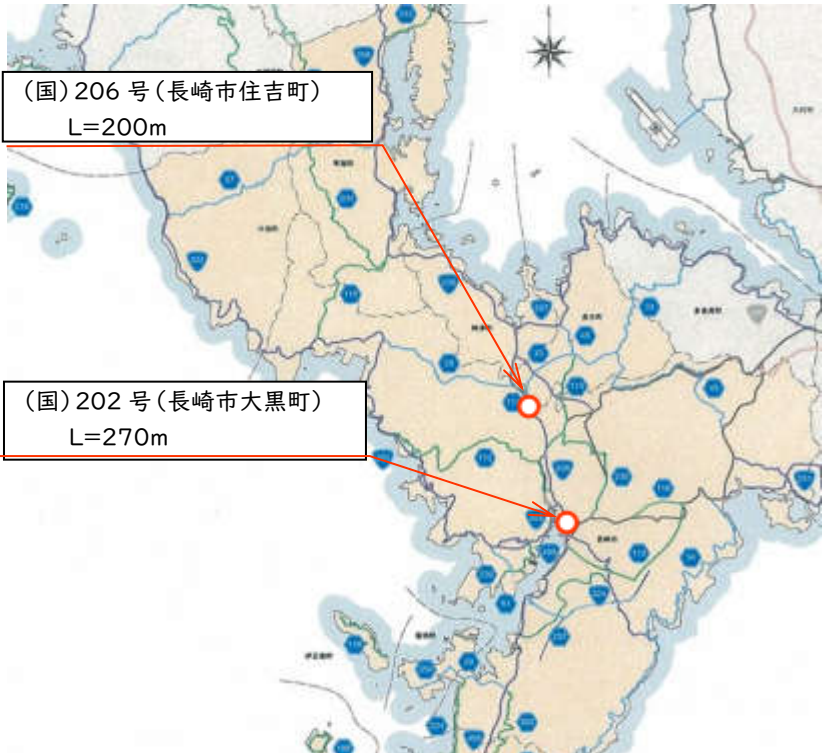
【橋梁長寿命化修繕計画に基づく、橋梁の点検、補強・補修工事及び調査設計の推進】

●目的	●事業区間位置図
長崎県橋梁長寿命化修繕計画に基づき、修繕が必要な橋梁について、補修を実施し、橋梁の長寿命化を図ることで、地域の道路網の安全性・信頼性を確保する。	 (一) 樺島港脇岬線 (樺島大橋)
●各工区の概要	
一般県道樺島港脇岬線(樺島大橋)	
事業の諸元 事業区間: 長崎市脇岬町 事業内容: 橋梁補修 着工年度: 令和4年度 完成年度: 令和8年度(予定) 橋梁延長: 150.0m 幅員: 5.5(8.5)m	事業推進中  全 景

④無電柱化推進事業【地震,大雨,台風,高潮などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進】

●目的	●事業区間位置図
電力や通信のケーブルなどの電線類の地中化は、 ①安全で快適な通行空間の確保 ②都市災害の防止 ③都市景観の向上 ④観光振興 ⑤地域活性化等を図るため実施している。 令和7年度は、設計および管路工を実施する。	 (国) 206 号 (大橋町～若葉町) L=1,080m(2,160)m (国) 202 号 (宝町～幸町) L=280m(560)m
●各工区の概要	
一般国道206号 大橋町～若葉町工区	
【事業の諸元】 事業区間:長崎市大橋町～若葉町 延長:L=1,080m(2,160)m 着工年度:平成 29 年度 完成年度:令和 8 年度(予定) 施工概要:管路埋設、 マンホール・ハンドホール設置	 現況写真
一般国道202号 宝町～幸町工区	
【事業の諸元】 事業区間:長崎市宝町～幸町 延長:L=280m(560)m 着工年度:令和 4 年度 完成年度:令和 9 年度(予定) 施工概要:管路埋設、 マンホール・ハンドホール設置	 現況写真

⑤舗装補修工の実施

●目的	●事業区間位置図
舗装補修は、 ①安全性・快適性の確保 ②歩行者・沿道住民の環境保全 ③都市景観の向上 ④耐久性の確保等 を図るため実施している。 令和7年度は 31 箇所を予定している。 主要箇所は以下のとおりである。 ① 一般国道 206 号 ② 一般国道 202 号	
●各工区の概要	
一般国道 206 号 【事業の諸元】 事業区間:長崎市住吉町 計画延長:200m 施工概要:切削オーバーレイ	事業推進中 
一般国道 202 号 【事業の諸元】 事業区間:長崎市大黒町 計画延長:270m 施工概要:切削オーバーレイ	事業推進中 

(2) 連続立体交差事業・土地区画整理事業

●連続立体交差事業 【長崎市中心部のグランドデザイン】

鉄道を高架化することにより、交通渋滞の原因となっている踏切を除却するとともに市街地の分断を解消する事業である。

●JR長崎本線連続立体交差事業

事業推進中

●目的

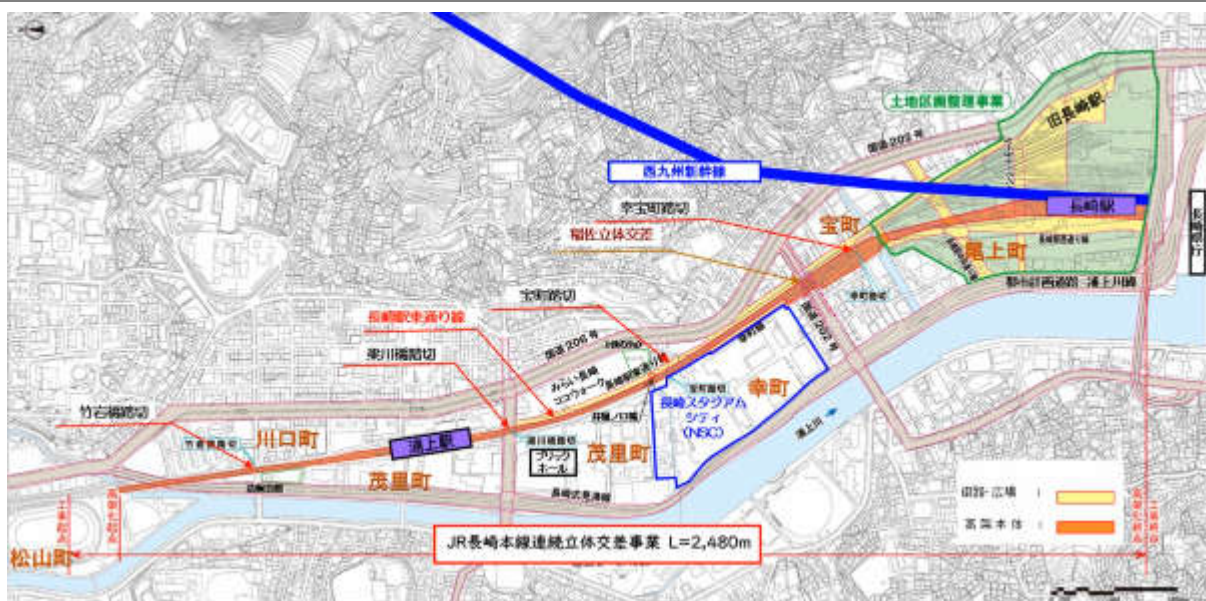
長崎本線は市街地中央の平坦部を南北に縦断しており、市街地が東西に分断され、円滑な都市活動の妨げとなっている。

また、鉄道を挟んだ東西の総交通量は1日あたり約 36,000 台（H23 観測）におよび、踏切と国道が近接していることから、踏切遮断時には著しい交通渋滞を引き起こしていた。

本事業は、鉄道の高架化による4か所の踏切除却と、鉄道に並行する側道および稲佐立体交差部の整備を行い、道路交通の円滑化を図るとともに、東西市街地の一体的利用に寄与するものである。

●事業概要

事業区間	長崎市松山町～尾上町 L=2,480m
事業期間	平成21年度～令和6年度（令和2年3月28日高架切替・新駅開業）
総事業費	約549億円（鉄道事業者の負担金を含む）
高架化駅	浦上駅、長崎駅
除却踏切	竹岩橋踏切、梁川橋踏切、宝町踏切、幸町踏切
施工方法	仮線方式
令和7年度施工	稲佐立体交差部整備工事



稲佐立体交差部の施工状況



長崎駅東通り線の現況



●土地区画整理事業 【防災・減災対策のための国土強靱化の推進】

道路、公園等の公共施設の整備改善を行うとともに、宅地の利用増進を図るため、土地区画整理事業を進める。

●高田南土地区画整理事業

長与町

●目的

本地区は、長崎市の北部に隣接し、JR長崎本線の道ノ尾駅を中心に、住宅地、畑地および林地からなり、幹線道路その他公共施設の整備が遅れた地区である。

本事業は、道路、公園等の公共施設の整備・改善を行うとともに、宅地の利用増進を図ることを目的に、昭和60年度から着手し現在施行中である。

●事業概要

事業名：高田南土地区画整理事業

事業期間：S60～R12

事業概要：施行地区面積 A=49.8ha

事業費：33,773 百万円

施行者：長与町（事業受託者：長崎県）

令和7年3月
工事概成

年度	予算 (百万円)	進捗率(%)	
		事業費	宅地造成率
R6 年度	1,466.75	98%	100%
R7 年度	417.00	99%	100%
R8 年度 以降残	391.87	—	—

(R7 事業内容等)

区画道路整備工事、測量、補償等



令和5年1月 撮影

(3) 洪水対策事業（河川・ダム）

水害の発生を未然に防止するとともに、自然環境との調和に配慮し、安全で快適な生活環境の創造と保全を図るため、河川改修事業及び、河川総合開発事業（ダム建設）を推進する。

令和7年度は、河川改修事業については時津川他3河川、河川総合開発事業（ダム建設）については、長崎水害緊急ダム（浦上ダム）の整備を推進する。

●河川改修事業 【地震、大雨、台風、高潮などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進】

河川名	工事箇所	事業種別	概 要	
			全 体	令和7年度
時津川	西彼杵郡時津町	総合流域防災事業 （河川改修）	S63～R15 L=2,700m	護岸工 橋梁架替工
高田川	西彼杵郡長与町	総合流域防災事業 （河川改修）	H5～R8 L=1,459m	護岸工 函渠工
鹿尾川	長崎市鹿尾町	総合流域防災事業 （河川改修）	S49～R14 L=3,870m	護岸工 管理用通路工
江 川	長崎市高浜町	総合流域防災事業 （河川改修）	H3～R12 L=1,006m	護岸工 橋梁架替工



① 時津川河川改修工事

西彼杵郡時津町(浦郷・元村郷・野田郷)

●整備概要

時津川は、川幅が狭いことから過去に幾度となく洪水氾濫が発生しており、特に昭和57年7月23日の「長崎大水害」の際には、時津町の中心街に甚大な浸水被害が発生し、時津川流域では浸水家屋約650戸、浸水面積約33haなど、総額約26億円にも及ぶ被害を被っている。

これを契機に昭和63年より河川改修が進められ、現在までに河口から780mまでの改修が完了し、引き続き 上流部の橋梁及び護岸を整備中である。

●位置図



令和15年度完了予定

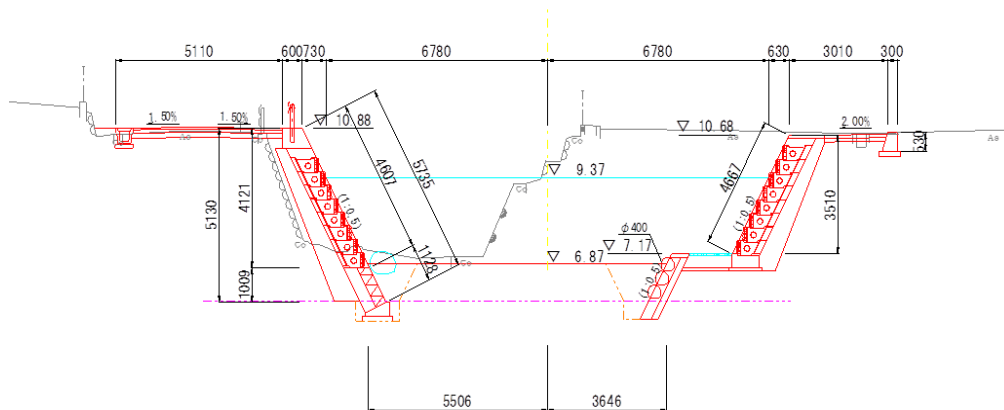
橋梁架替工



護岸工



河川拡幅断面図



② 江川河川改修工事

長崎市高浜町

●整備概要

江川は、河道が狭小のため、浸水被害が頻発しており、特に昭和57年7月23日の「長崎大水害」では、浸水面積5.2ha、浸水戸数48戸の甚大な被害が発生した。

このようなことから、河道拡幅及び河床掘削等により流下能力の向上を図り、洪水に対して安全な河道を確保し、河川の氾濫を防止するために改修工事を実施している。

●位置図

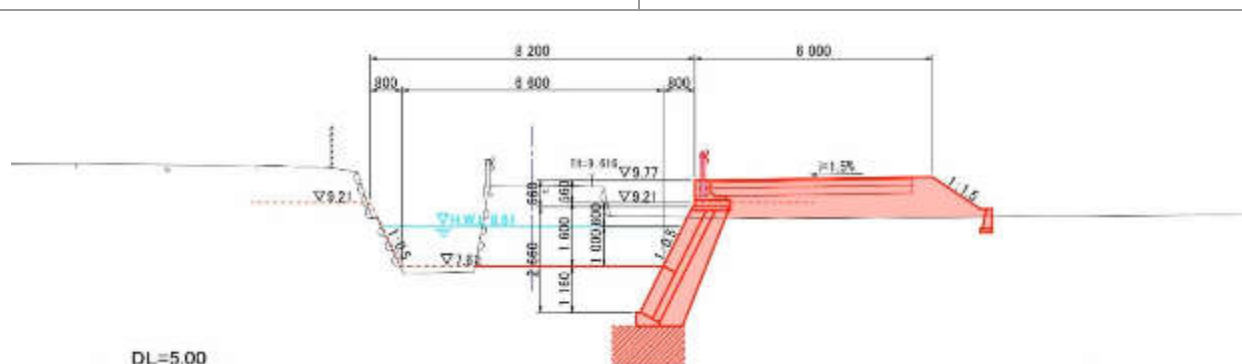


令和12年度完了予定

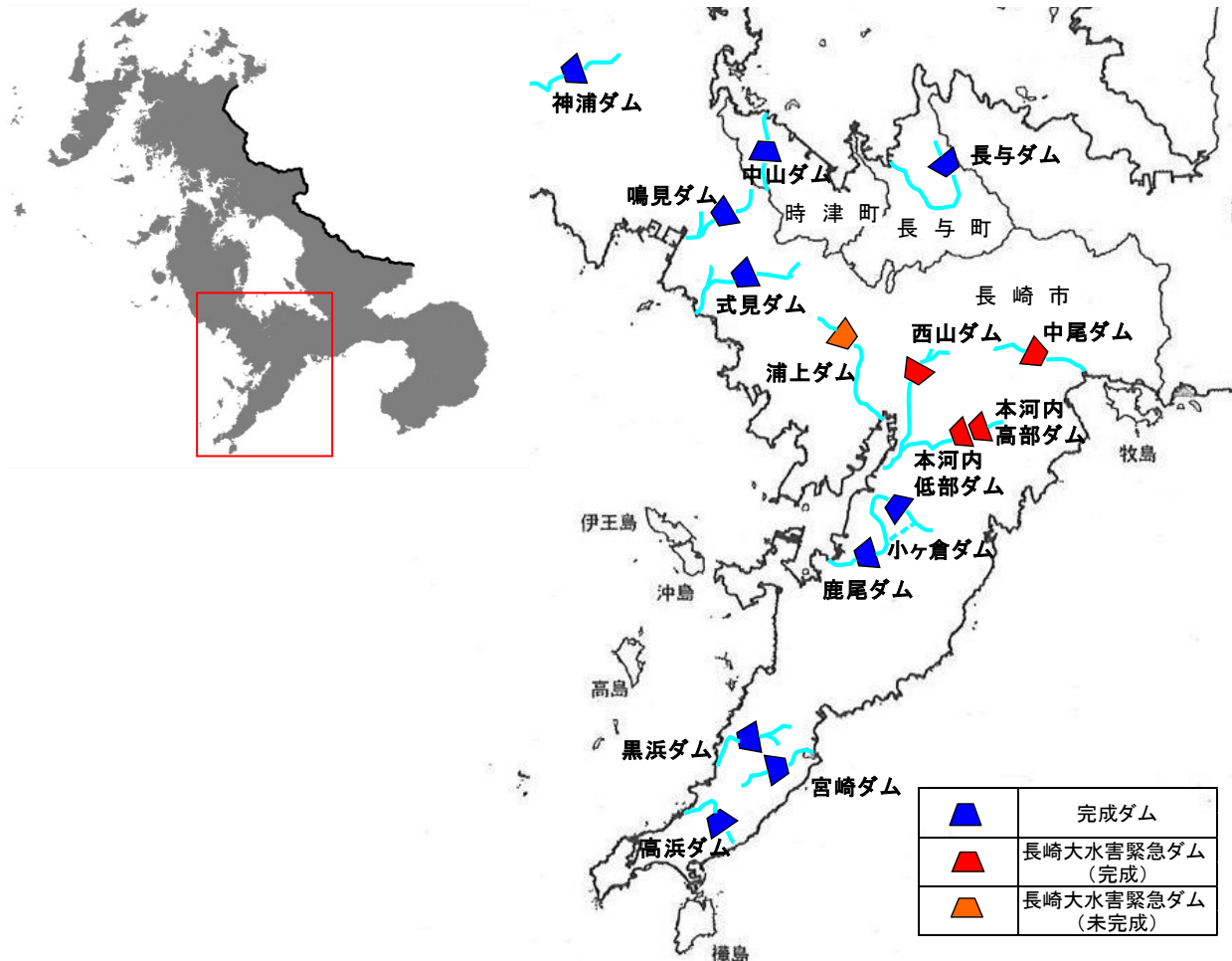
橋梁架替工



護岸工



●ダム事業【地震、大雨、台風、高潮などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進】

① 長崎水害緊急ダム建設事業	長崎市
●目的	
昭和57年7月23日に発生した長崎大水害時の記録的豪雨により、長崎市を中心とする長崎県内は、未曾有の大災害となり、多くの人命が失われ、大きな被害が発生した。この豪雨で、長崎市市街地においては、中心部を流れる中島川と浦上川が氾濫し、沿川は甚大な被害を受けた。 この状況から、中島川、浦上川の抜本的な治水対策として、昭和58年度より既設水道専用ダム（西山ダム、本河内低部・高部ダム、浦上ダム）の容量の一部を治水目的に振り替え、ダムを再開発する長崎水害緊急ダム建設事業を河川整備事業と合わせて実施している。また、既設水道専用ダムの再開発により失われる利水機能は、同事業により、中尾川（八郎川水系）の治水対策として建設する中尾ダムで確保する。 浦上ダムにおいては、30cmのダムかさ上げと約48万㎡の貯水池掘削を計画しており、現在は貯水池掘削に向けた仮設ヤードの造成を進捗中であり、完了後、貯水池掘削作業へ取り掛かる。	
●位置図	
	

浦上ダム

令和 11 年度完成予定

【ダムの諸元】

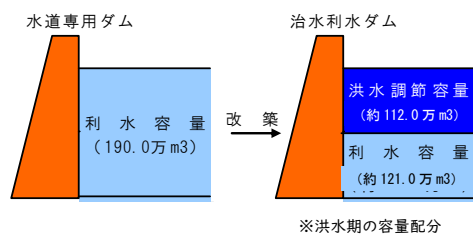
場 所:長崎市昭和3丁目

建設期間:昭和58年度～令和11年度(予定)

ダム型式:重力式コンクリートダム

ゲート:自然調節方式

堤高・堤頂長:21.1m・89.4m



【ダム堤体改築(30cm 嵩上げ含む)】



【貯水池掘削】

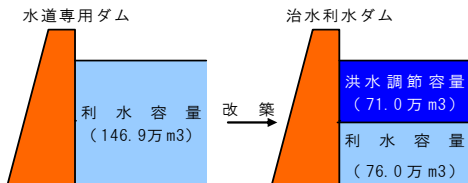


西山ダム

平成 11 年度完成

【ダムの諸元】

場 所:長崎市片淵町
建設期間:昭和58年度～平成11年度
ダム型式:重力式コンクリートダム
ゲート:自然調節方式
堤高・堤頂長:40.0m・216.0m

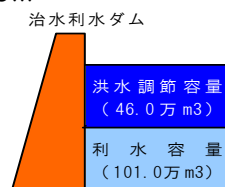


中尾ダム

平成 12 年度完成

【ダムの諸元】

場 所:長崎市田中町
建設期間:昭和58年度～平成12年度
ダム型式:重力式コンクリートダム
ゲート:自然調節方式
堤高・堤頂長:40.0m・201.0m

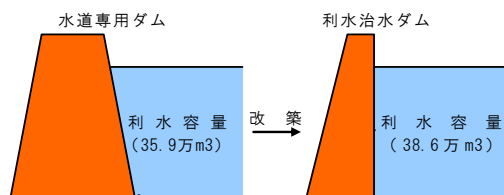


本河内高部ダム

平成 17 年度完成

【ダムの諸元】

場 所:長崎市本河内町
建設期間:昭和58年度～平成17年度
ダム型式:重力式コンクリートダム
ゲート:自然調節方式
堤高・堤頂長:28.2m・158m

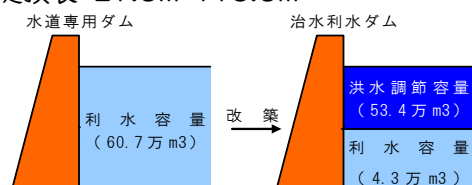


本河内低部ダム

平成 24 年度完成

【ダムの諸元】

場 所:長崎市本河内町
建設期間:昭和58年度～平成24年度
ダム型式:重力式コンクリートダム
ゲート方式:自然調節方式
堤高・堤頂長:27.8m・118.8m



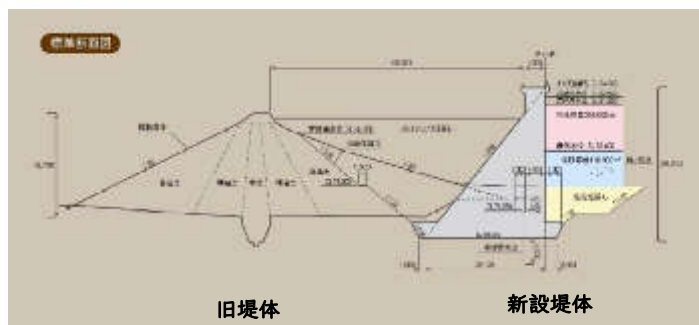
国の重要文化財に指定されたダム(本河内高部ダム・本河内低部ダム)

本河内高部ダム・本河内低部ダムは中島川における昭和 57 年 7 月 23 日長崎大水害規模の洪水に対応するため、既設の水道専用ダムに治水機能を新たに持たせる再開発を行った。

再開発にあたっては既設ダムの歴史的価値を損なわぬよう配慮し、平成 29 年 7 月 31 日に『本河内水源地道施設』の名称で国の重要文化財に指定された。

【本河内高部ダム】

本河内高部ダムは、既設水道専用ダムが、明治 24 年に完成したものであるため、歴史的な価値を考慮し、既設ダム保全の観点から、その上流側約 55m に新たに建設した。また、新旧堤体間は公園(平成 25 年 3 月完成)として整備し、旧ダム取水塔の頂部や底樋の一部等を展示している。



高部ダム断面図(高部ダム工事完了 平成 17 年)

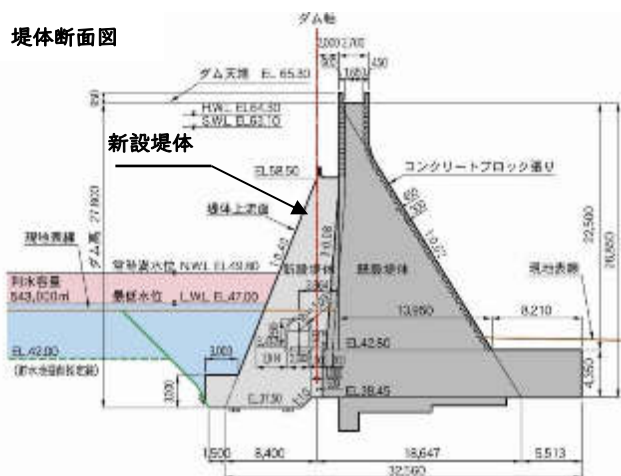


公園整備(平成 25 年 3 月完了)

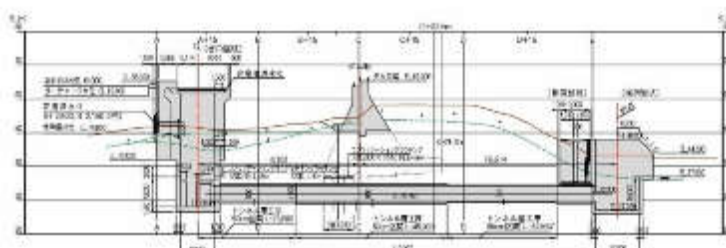
【本河内低部ダム】

本河内低部ダムは、既設水道専用ダムが、明治 36 年に完成した日本で2番目に古い重力式コンクリートダムであるため、歴史的な価値を考慮し、既設ダムを極力保存する観点から、既設堤体の上流面に新設堤体を増厚する「上流腹付形式」、洪水を堤体下のトンネルにより流下させる「竪坑型トンネル式洪水吐き」を採用し建設した。また、低部ダム下流は、古くから桜の名所となっていたため、ダム工事完了後は桜を植栽し、景観復元を行った。

堤体断面図



竪坑型トンネル式洪水吐き断面図



低部ダム下流は古くから桜の名所

(平成 25 年 3 月完了)



竪坑型洪水吐き

新設堤体

低部ダム上流状況

②その他管理ダム概要

●目的

ダムによって洪水を一時的に貯留するための容量を確保し、洪水時のピーク流量をカットすることにより、下流河川の洪水を防御します。

また、河川水を貯留するための容量を確保し、この容量を使用して河川流量が豊富な時には河川水を貯留し、流量が減少した時に放流することにより、下流河川の流量を一定にして都市用水等の安定取水を可能にします。

1 神浦ダム（多目的ダム）

昭和44年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 長崎市神浦町
 使用目的 : 洪水調節、上水道、流水の正常な機能の維持
 事業期間 : 昭和41年～昭和44年
 ダム型式 : 重力式コンクリートダム
 ゲート方式 : クレストラジアルゲート×2 門
 堤高・堤頂長: 51.0m・210.0m
 堤 体 積 : 103,000m³
 総貯水容量 : 6,840 千 m³
 洪水調節容量: 1,050 千 m³
 利水容量 : 6,280 千 m³
 ダム周辺環境整備事業: 昭和56年～昭和61年
 堰堤改良事業: 昭和57年～昭和60年、平成5年
 平成17年～平成18年



2 式見ダム（多目的ダム）

昭和55年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 長崎向町
 使用目的 : 洪水調節、上水道
 事業期間 : 昭和49年～昭和55年
 ダム型式 : 重力式コンクリート
 ゲート方式 : 自然調節方式
 堤高・堤頂長: 45.5m・136.0m
 堤 体 積 : 63,400m³
 総貯水容量 : 2,150 千 m³
 洪水調節容量: 670 千 m³
 利水容量 : 1,380 千 m³

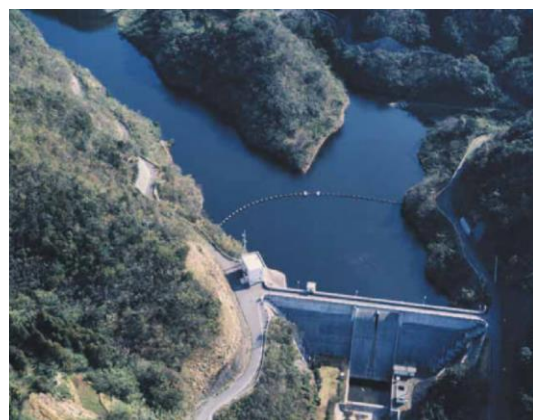


3 黒浜ダム（治水ダム）

昭和58年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 長崎市黒浜町
 使用目的 : 洪水調節、流水の正常な機能の維持
 事業期間 : 昭和50年～昭和58年
 ダム型式 : 重力式コンクリートダム
 ゲート方式 : 自然調節方式
 堤高・堤頂長: 28.6m・93.0m
 堤 体 積 : 22,600m³
 総貯水容量 : 300 千 m³
 洪水調節容量: 150 千 m³
 利水容量 : —



4 中山ダム（多目的ダム）

昭和59年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 時津町子々川郷
使用目的 : 洪水調節、上水道、流水の正常な機能の維持
事業期間 : 昭和48年～昭和59年
ダム型式 : 重力式コンクリートダム
ゲート方式 : 自然調節方式
堤高・堤頂長: 24.5m・85.0m
堤 体 積 : 15,100m³
総貯水容量 : 530 千 m³
洪水調節容量: 150 千 m³
利水容量 : 230 千 m³



5 長与ダム（多目的ダム）

昭和60年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 西彼杵郡長与町
使用目的 : 洪水調節、上水道、流水の正常な機能の維持
事業期間 : 昭和48年～昭和60年
ダム型式 : 重力式コンクリートダム
ゲート方式 : 自然調節方式
堤高・堤頂長: 36.0m・171.0m
堤 体 積 : 60,400m³
総貯水容量 : 600 千 m³
洪水調節容量: 350 千 m³
利水容量 : 50 千 m³



6 鹿尾ダム（多目的ダム）

昭和62年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 長崎市鹿尾町
使用目的 : 洪水調節、上水道、流水の正常な機能の維持
事業期間 : 昭和49年～昭和62年
ダム型式 : 重力式コンクリートダム
ゲート方式 : 自然調節方式
堤高・堤頂長: 34.6m・88.0m
堤 体 積 : 32,500m³
総貯水容量 : 1,140 千 m³
洪水調節容量: 320 千 m³
利水容量 : 630 千 m³



7 小ヶ倉ダム（多目的ダム）

昭和62年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 長崎市小ヶ倉町
使用目的 : 洪水調節、上水道
事業期間 : 昭和49年～昭和62年
ダム型式 : 重力式コンクリートダム
ゲート方式 : 自然調節方式
堤高・堤頂長: 41.2m・135.6m
堤 体 積 : 51,000m³
総貯水容量 : 2,040 千 m³
洪水調節容量: 250 千 m³
利水容量 : 1,690 千 m³



8 鳴見ダム（多目的ダム）

平成3年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 長崎市鳴見町
 使用目的 : 洪水調節、上水道
 事業期間 : 昭和53年～平成3年
 ダム型式 : 重力式コンクリートダム
 ゲート方式 : 自然調節方式
 堤 高 : 53.5m
 堤 頂 長 : 180.0m
 堤 体 積 : 134,000m³
 総貯水容量 : 2,250 千 m³
 洪水調節容量: 450 千 m³
 利水容量 : 1,740 千 m³



9 宮崎ダム（生活貯水池）

平成15年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 長崎市宮崎町
 使用目的 : 洪水調節、流水の正常な機能の維持
 事業期間 : 昭和47年～平成15年
 ダム型式 : ゾーン型アースダム
 ゲート方式 : 自然調節方式
 堤 高 : 27.0m
 堤 頂 長 : 154.0m
 堤 体 積 : 169,700m³
 総貯水容量 : 164 千 m³
 洪水調節容量: 94 千 m³
 利水容量 : —



10 高浜ダム（生活貯水池）

平成19年度完成

【事業の諸元】

場 所 : 長崎市高浜町
 使用目的 : 洪水調節、上水道、流水の正常な機能の維持
 事業期間 : 平成元年～平成19年
 ダム型式 : 重力式コンクリートダム
 ゲート方式 : 自然調節方式
 堤 高 : 38.0m
 堤 頂 長 : 125.0m
 堤 体 積 : 41,000m³
 総貯水容量 : 183 千 m³
 洪水調節容量: 76 千 m³
 利水容量 : 43 千 m³



河川総合開発事業 ダム諸元表

番号	区分	ダム名	水系名	河川名	ダム位置	使用目的	工 期	ダム諸元				貯水池の諸元						洪水調節			効果					
								型 式	堤高	堤頂長	堤体積	集水 面積	湛水 面積	総貯水 容量	有効貯水 容量	洪水調節 容量	不特定 容量	利水 容量	治水 安全度	計画時間 雨量	計画日 雨量	調節量 放流量	開発 水量	かんがい 面積		
1		神 浦	神浦川	神浦川	長崎市	F.N.W	S41~44	重力式 コンクリート	51.0	210.0	103,000	km2 (間接)8.5 (直接)16.5	km2	km3	km3	km3	km3	km3	km3	mm/時	mm/s	m3/s	m3/日	ha		
2		式 見	式見川	式見川	長崎市	F.W	S49~55	重力式 コンクリート	45.5	136.0	63,400	3.3	0.158	2,150	2,050	670	-	1,380	1/100	300	118	150	50	12,000	-	
3		中 山	子々川	子々川	時津町	F.N.W	S48~59	重力式 コンクリート	24.5	85.0	15,100	2.1	0.11	530	470	150	90	230	1/50	350	100	45	30	3,000	15	
4		長 与	長与川	長与川	長与町	F.N.W	S48~60	重力式 コンクリート	36.0	171.0	60,400	1.8	0.085	600	540	350	140	50	1/80	295	114	90	10	1,400	22	
5	多 目 的 ダ ム	鹿 尾	鹿尾川	鹿尾川	長崎市	F.N.W	S49~62	重力式 コンクリート	34.6	88.0	32,500	10.3	0.15	1,140	1,000	320	50	630	1/100	395	110	60	210	7,600	0.7	
6		小ヶ倉	鹿尾川	鹿尾川	長崎市	F.W	S49~62	重力式 コンクリート	41.2	135.6	51,000	3.3	0.157	2,040	1,940	250	-	1,690	1/100	395	110	40	0	10,500	0.7	
7		鳴 見	多以良川	二股川	長崎市	F.W	S53~H3	重力式 コンクリート	53.5	180.0	134,000	(間接)0.8 (直接)1.9	0.149	2,250	2,190	450	-	1,740	1/80	380	108	73	17	11,500	-	
8		長 崎 水 害 緊 急 ダ ム 建 設 事 業	西 山	中島川	西山川	長崎市	F.N.W	S58~H11	重力式 コンクリート	40.0	216.0	85,000	3.6	0.13	1,580	1,470	710	760	-	1/100	527	127.5	100	40	(8,100)	-
9			中 尾	八郎川	中尾川	長崎市	F.N.W	S58~H12	重力式 コンクリート	40.0	201.0	85,000	3.6	0.11	1,580	1,470	460	849	161	1/100	527	127.5	40	75	1,400 (8,700)	0.56
10	本河内高部		中島川	中島川	長崎市	N.W	S58~H17	重力式 コンクリート	28.2	158.0	47,000	3.5	0.05	496	386	0	386	-	1/100	527	127.5	0	130	(5,500)	-	
11	本河内低部		中島川	中島川	長崎市	F.N.W	S58~H24	重力式 コンクリート	27.8	118.8	32,500	4.6	0.07	607	577	534	43	-	1/100	527	127.5	95	80	(1,000)	-	
12		浦 上	浦上川	大井手川	長崎市	F.N.W	S58~	重力式 コンクリート	21.1	89.4	17,600	7.3	0.3	2,490	2,330	1,120	1,210	-	1/100	527	127.5	150	75	(23,900)	-	
13	治水	黒 浜	黒浜川	黒浜川	長崎市	F.N	S50~58	重力式 コンクリート	28.6	93.0	22,600	0.9	0.039	300	275	150	125	-	1/50	350	100	25	10	-	-	
14	生活貯水池	高 浜	江川	江川	長崎市	F.N.W	H1~19	重力式 コンクリート	38.0	125.0	41,000	(間接)0.14 (直接)0.15	0.023	183	179	76	60	43	1/50	345	121.1	10	2	100	3.6	
15		宮 崎	宮崎川	宮崎川	長崎市	F.N	S47~H15	ゾーン型 アースダム	27.0	154.0	169,700	1.85	0.03	164	114	94	20	-	1/50	345	121.1	25	40	-	-	

F:洪水調節 N:不特定用水 W:水道用水

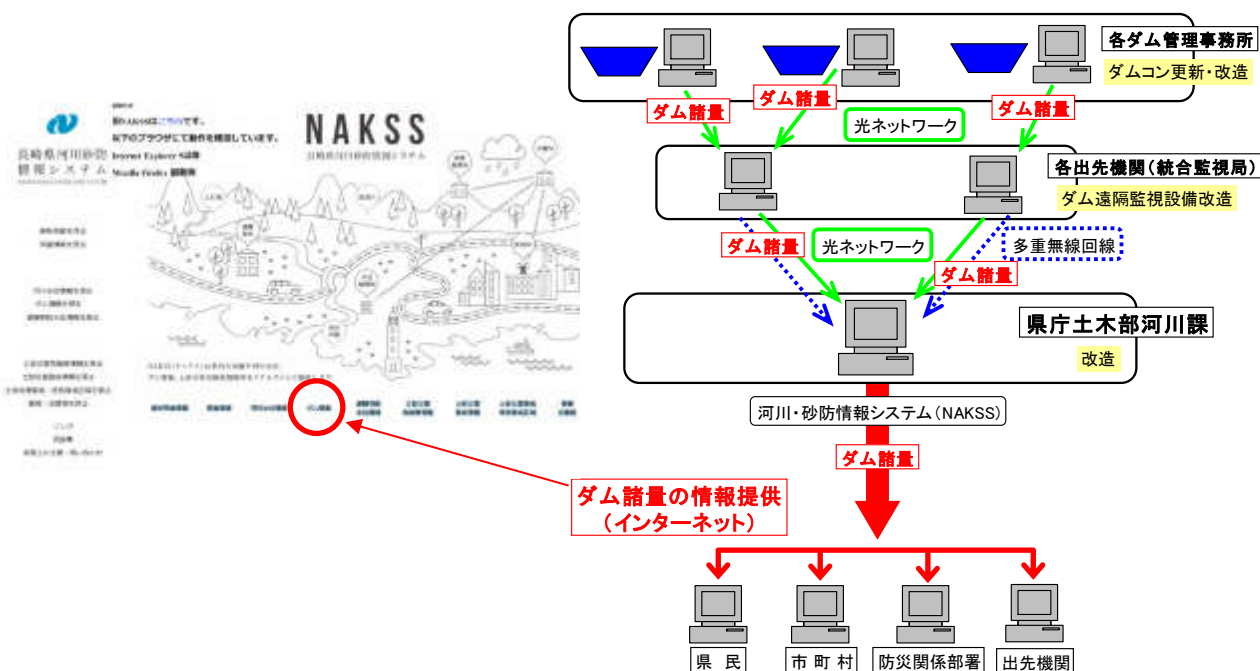
③情報基盤総合整備事業（河川・ダム・砂防・地すべり・急傾斜共通）

●目的

水防上重要な河川の流域や、土石流、地すべり、崖崩れ等による被害を受けるおれが大きい地区において、当該地区の警戒・避難体制を確立するための情報を提供するため、テレメーター雨量計や水位計などの観測機器を配置するとともに、これらデータを処理する監視装置や、これに付随するデータ伝達装置の構築を推進する。

現在、長崎県では河川・砂防情報システム（NAKSS）により河川情報および砂防情報を提供している。

●河川・砂防情報システム（NAKSS）図



④危機管理型水位計(河川)

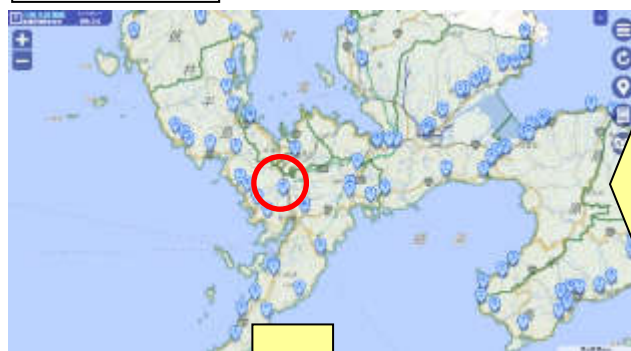
●目的

中小河川における水位計は、設置・維持管理コストがネックとなって全国的に設置が進んでいない状況であった。しかし、近年、水位計が設置されていない河川流域において大きな被害が発生していることから、住民避難に活用するための水位計設置が課題となっており、国土交通省の革新的河川仮プロジェクトの一環として低コストで設置運用可能な危機管理型水位計の開発が行われた。

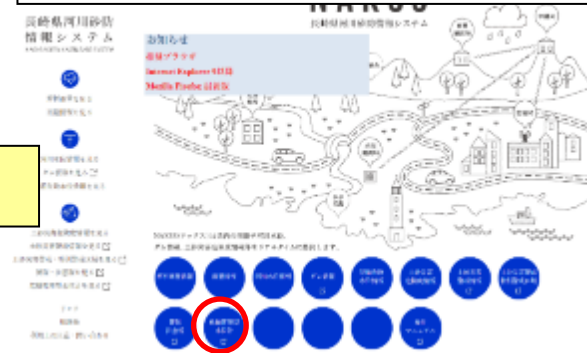
長崎振興局管内において、平成30年度および令和2年度に危機管理型水位計を34箇所設置し、平成30年度末までに29箇所と令和2年度までに5箇所を運用開始しており、住民避難へ活用されることが期待されている。

●危機管理型水位計図

川の水位情報



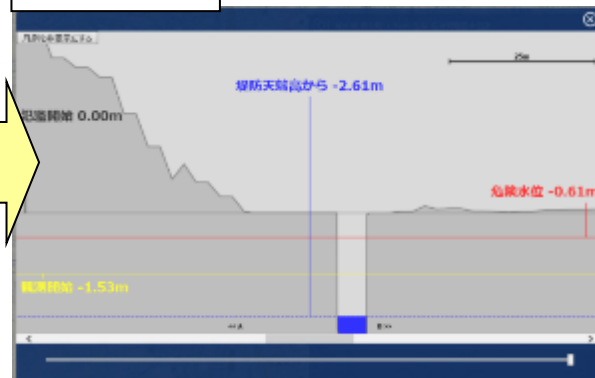
長崎県河川砂防情報システム (NAKSS) 画面



城山川



城山川横断面図



危機管理型水位計設置状況写真



(4) 土砂災害防止対策事業(砂防・急傾斜・地すべり)

管内は、平坦地が乏しく、不安定な地質構造である地域も多いことから、土石流、地すべり、崖崩れ等の土砂災害が頻発しており、特に昭和57年7月23日の長崎大水害では、土石流やがけ崩れ等で299名の方々が亡くなりました。

大雨、台風などの自然災害に備えるため、砂防・急傾斜・地すべり対策の施設整備を推進する。

令和7年度、砂防事業については、矢の平川大規模特定砂防等事業他26溪流(総合流域防災事業除く)、急傾斜地崩壊対策については多良(4)地区他23地区、地すべり対策については、上黒崎地区の整備を推進する。

●砂防事業 【大雨、台風などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進】

番号	溪流名	工事箇所	事業種別	概 要	
				全体計画	令和7年度
1	矢の平川	長崎市 矢の平1丁目	大規模特定 砂防等事業	砂防えん堤工1基 着工H24、完成予定R9	溪流保全工1式
2	紅葉谷川(イ)	長崎市 淵町	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R1、完成予定R10	用地・補償1式
3	立岩川(ホ)	長崎市 立岩町	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工H30、完成予定R10	砂防えん堤工1基
4	小ヶ倉川(イ)	長崎市 小ヶ倉町1丁目	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R1、完成予定R10	工事用道路1式 砂防えん堤工1基
5	小江小浦川(ホ)	長崎市 小江町	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R1、完成予定R11	用地・補償1式
6	小江小浦川(イ)	長崎市 小江町	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R2、完成予定R12	工事用道路1式 砂防えん堤工1基
7	小江原川(ニ)	長崎市 小江原1丁目	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R2、完成予定R10	工事用道路1式
8	鳴見川(チ)	長崎市 鳴見町	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R2、完成予定R8	砂防えん堤工1基
9	荒平川(イ)	時津町 元村郷	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R1、完成予定R9	用地・補償1式
10	荒平川(ハ)	時津町 元村郷	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R2、完成予定R9	砂防えん堤工1基
11	陣の内川(ハ)	長崎市 上戸石町	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R11	用地・補償1式
12	城平川(ニ)	長崎市 平間町	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R12	用地・補償1式
13	大宮川(ハ)	長崎市 大宮町	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R12	用地・補償1式
14	神ノ崎川	長崎市 上戸町4丁目	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R12	工事用道路1式
15	佐古平川(ロ)	時津町 子々川郷	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R9	砂防えん堤工1基
16	城ノ平川	時津町 日並郷	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R12	用地・補償1式
17	植木川	長与町 吉無田郷	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R12	用地・補償1式
18	小江原川(ロ)	長崎市 小江原1丁目	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R4、完成予定R12	用地・補償1式
19	神ノ崎川(ロ)	長崎市 上戸町4丁目	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R4、完成予定R11	用地・補償1式
20	小ヶ倉川(ロ)	長崎市 小ヶ倉町1丁目	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R4、完成予定R11	用地・補償1式
21	棚荷尾川(イ)	長崎市 三原3丁目	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R6、完成予定R13	用地測量1式
22	青山川(ロ)	長崎市 青山町	火山砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R6、完成予定R13	用地測量1式
23	竿ノ浦川(ハ)	長崎市 竿浦町	通常砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R2、完成予定R10	砂防えん堤工1基
24	椿が丘川(ハ)	長崎市 椿が丘町	通常砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R2、完成予定R11	砂防えん堤工1基 溪流保全工1式
25	南県川	長崎市 黒浜町	通常砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R12	用地・補償1式
26	浜川	長崎市 為石町	通常砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R10	用地・補償1式
27	上曲川	長崎市 野母町	通常砂防事業	砂防えん堤工1基 着工R3、完成予定R9	砂防えん堤工1基
28	草住川 他	長崎市 草住町 他	総合流域防災事業	流木捕捉工16基 着工R2、完成予定R10	流木捕捉工1基

●目的

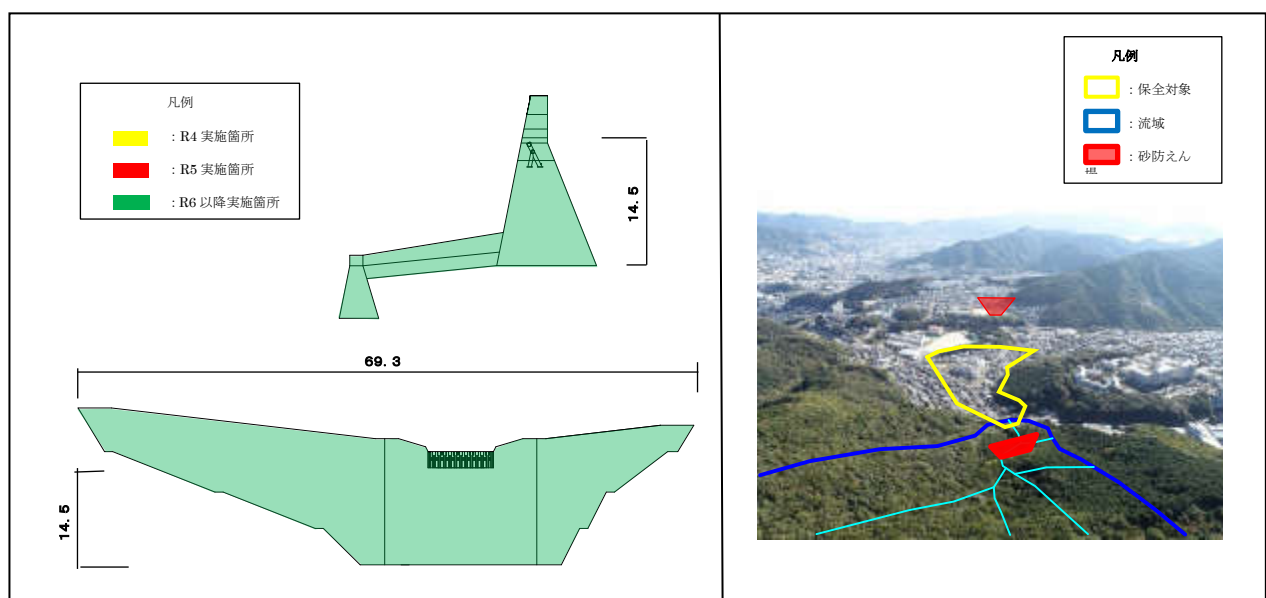
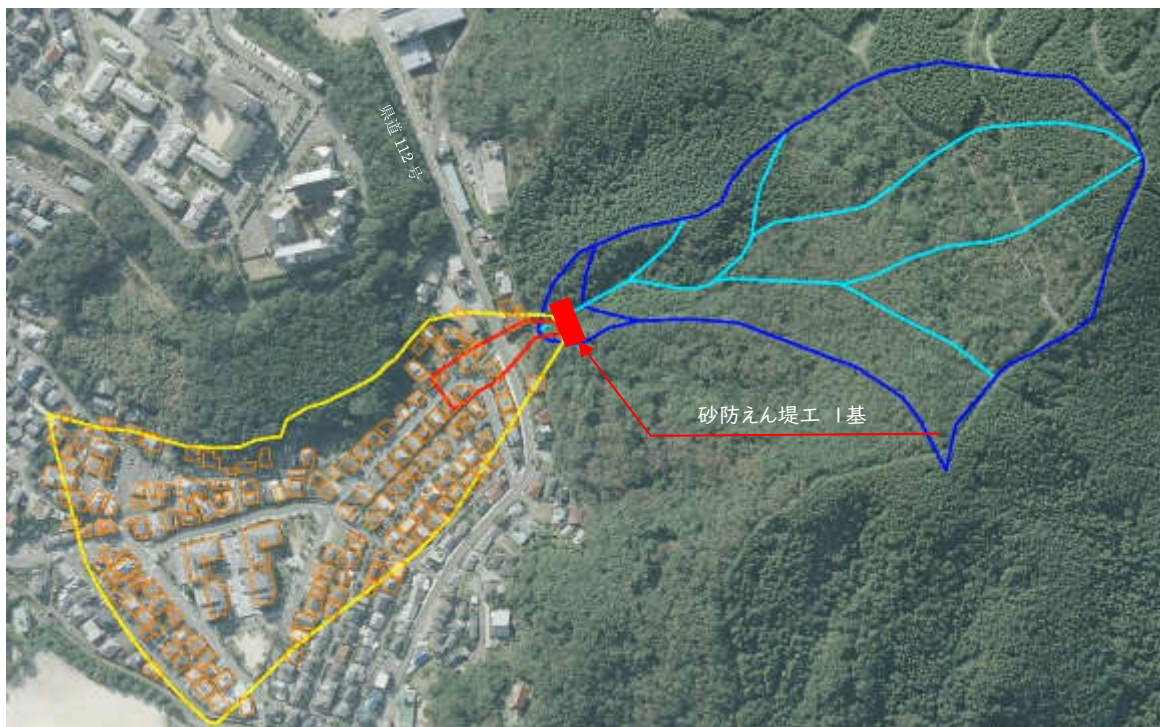
小江原川(二)の上流域は、全体的に荒廃が進み土砂の生産源となっており、土石流の発生が懸念される。また、その下流域は人家が集中し、県道 112 号が横断しており、これらを保全し民生の安定を図るため、砂防事業を施工するものである。

●事業概要

保全対象：人家 158 戸、県道 80m、市道 1,430m

施工概要：砂防えん堤工 1 基 ($H=14.5\text{m}$ 、 $L=69.3\text{m}$ 、 $V=4,265\text{m}^3$)

●流域図



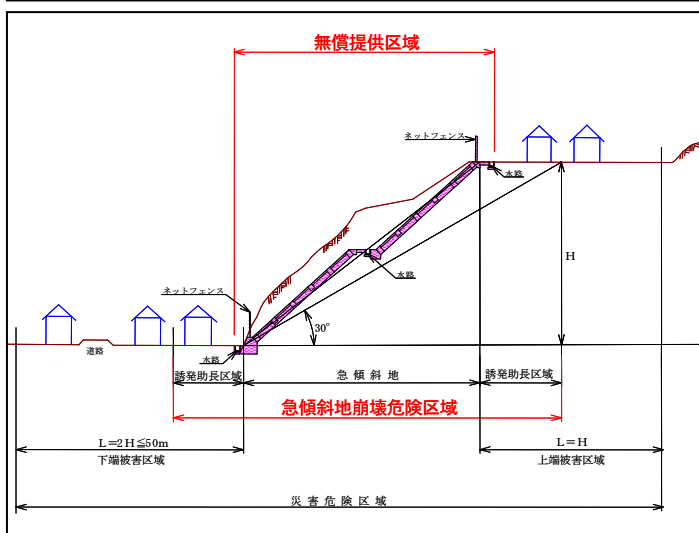
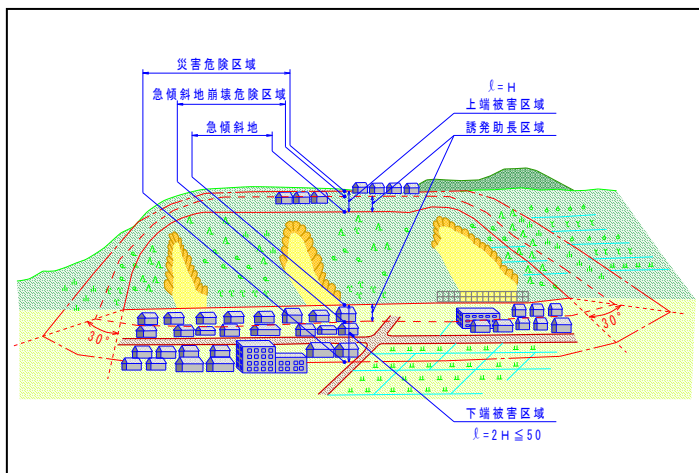
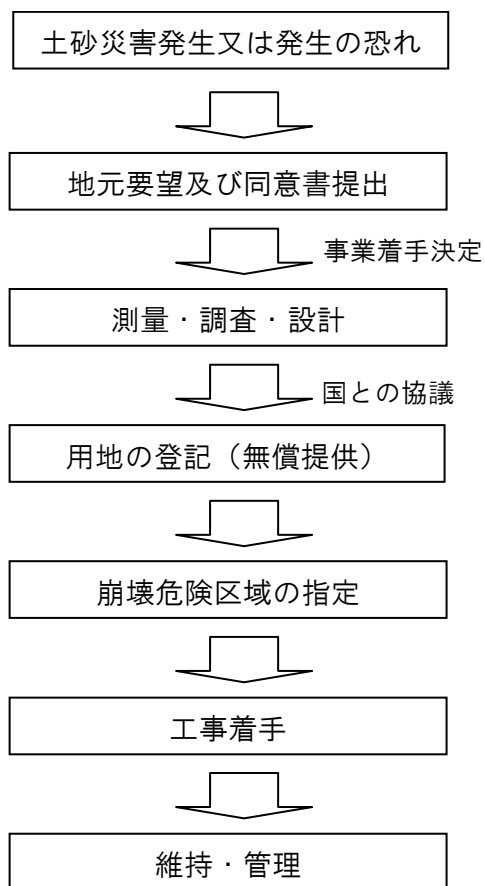
●急傾斜地崩壊対策事業【大雨、台風などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進】

番号	地区名	工事箇所	事業種別	概要	
				全体計画	令和7年度
1	多以良(4)地区	長崎市 多以良町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長188m 法面工10,900m ² H27年度～R12年度	法面工1式
2	大園(4)地区	長崎市 虹が丘町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長238m 法面工13,000m ² H29年度～R10年度	法面工1式
3	西北(5)地区	長崎市 西北町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長84m 待受工61m H29年度～R8年度	待受工1式
4	滑石3丁目(5)地区	長崎市 滑石3丁目	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長187m 法面工7,500m ² H29年度～R9年度	法面工1式
5	金堀(1)地区	長崎市 金堀町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長127m 法面工3,400m ² H30年度～R7年度	法面工1式
6	大浜(19)地区	長崎市 大浜町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長108m 法面工8,100m ² H30年度～R13年度	法面工1式
7	滑石5丁目(6)地区	長崎市 滑石5丁目	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長143m 法面工2,200m ² H30年度～R8年度	法面工1式
8	戸町2丁目(7-1)地区	長崎市 戸町2丁目	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長230m 法面工7,800m ² R1年度～R10年度	法面工1式
9	戸町2丁目(7-2)地区	長崎市 戸町2丁目	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長147m 法面工5,800m ² R1年度～R8年度	法面工1式
10	現川地区	長崎市 現川町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長410m 法面工10,700m ² R1年度～R12年度	法面工1式
11	大園(3)地区	長崎市 大園町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長128m 法面工9,900m ² R2年度～R12年度	法面工1式
12	葉山2丁目(4)地区	長崎市 葉山2丁目	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長70m 法面工2,000m ² R3年度～R8年度	法面工1式
13	三重(2)地区	長崎市 三重町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長150m 法面工4,500m ² R3年度～R9年度	法面工1式
14	横尾地区	長崎市 横尾1丁目	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長114m 法面工3,100m ² R3年度～R10年度	法面工1式
15	茂木(6)地区	長崎市 茂木町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長130m 法面工3,700m ² R3年度～R11年度	法面工1式
16	川平地区	長崎市 川平町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長55m 法面工1,900m ² R3年度～R8年度	法面工1式
17	入船(7)地区	長崎市 入船町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長120m 法面工1,700m ² R3年度～R8年度	法面工1式
18	大崎里乙(1)地区	長崎市 大崎町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長90m 法面工2,600m ² R4年度～R10年度	分筆登記1式
19	田中(7)地区	長崎市 田中町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長260m 法面工10,000m ² R4年度～R12年度	分筆登記1式
20	三川(2)地区	長崎市 三川町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長100m 法面工8,000m ² R4年度～R14年度	分筆登記1式
21	田中(10)地区	長崎市 田中町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長120m 法面工3,000m ² H6年度～R12年度	測量・調査・設計1式
22	北栄(10)地区	長崎市 北栄町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長50m 法面工800m ² H7年度～R12年度	測量・調査・設計1式
23	茂木(11)地区	長崎市 茂木町	急傾斜地崩壊 対策事業	工事長120m 法面工8,400m ² H7年度～R16年度	測量・調査・設計1式
24	神ノ島地区	長崎市 神ノ島2丁目	急傾斜地崩壊防止 施設緊急改築事業	工事長140m 法面工1,200m ² H25年度～R7年度	法面工1式

●目的

採択条件（保全人家 10 戸以上・がけ高 10m 以上・角度 30°以上など）を満たす傾斜地において、長崎県が区域を指定し、崩壊対策工事を実施することで、がけ崩れから人命を守る事業である。

●事業の流れ



●事業概要

大園(4)地区急傾斜地崩壊対策工事

令和10年度完成予定

【事業の諸元】

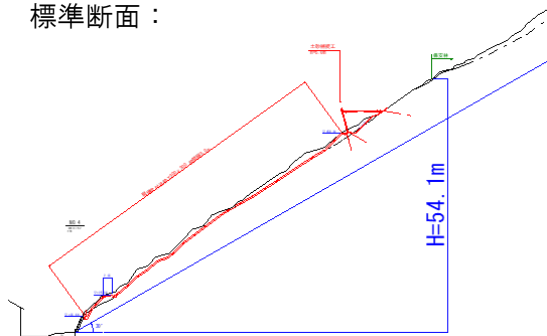
場 所:長崎市虹が丘町

工事長 : L=238m

法面工 : A=13,000m²

保全人家:62戸

標準断面:



神ノ島地区急傾斜地崩壊防止施設緊急改築工事

令和7年度完成予定

【事業の諸元】

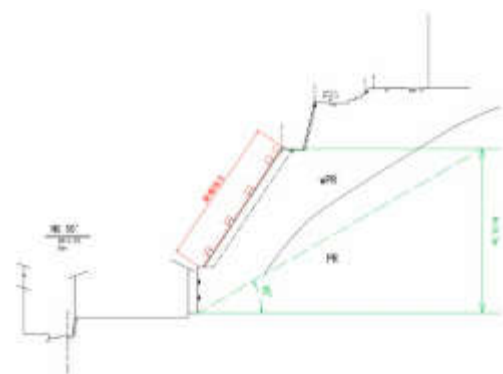
場 所:長崎市神ノ島2丁目

工事長 : L=140m

法面工 : A=1,200m²

保全人家:33戸

標準断面:

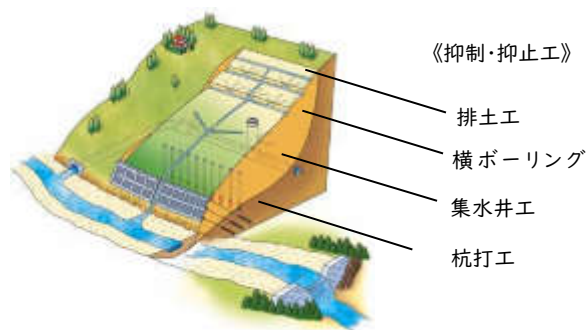


●地すべり対策事業【大雨、台風などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進】

番号	地区名	工事箇所	事業種別	概 要	
				全体計画	令和7年度
1	上黒崎地区	長崎市 上黒崎町	地すべり対策事業	集水井工 5基 集水ボーリング 77本 横ボーリング 27本 杭打工 120本 平成24年度～令和8年度	観測1式 杭打工1式

●目 的

地すべり防止施設等の新設等を行うことにより、人家、公共建物、河川、道路等の公共施設その他のものに対する地すべり等による被害を除去又は軽減し、国土保全と民生の安定に資することを目的とする。



事業概要

上黒崎地区地すべり対策工事

令和8年度完成予定

【事業の諸元】

場 所 : 長崎市上黒崎町
防止区域面積: A=17.50ha
保全対象 : 人家73戸、河川等
亀裂箇所 : 家屋・道路等



●土砂災害防止のソフト対策【大雨、台風などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進】

土石流やがけ崩れ等の土砂災害に備え、土砂災害の恐れがある区域を周知して避難判断等に活用するため、土砂災害防止法に基づき、「土砂災害警戒区域等」の指定を進めている。

なお、指定に際しては、区域内の住民がその範囲を確認するため、地区公民館等において事前縦覧を実施している。

これまでの指定区域は以下のとおり。（特別警戒区域の数値は、警戒区域の数値の内数）

告示 年月日	指定箇所（町名）	土石流		急傾斜		地すべり		合計	
		警戒 区域	特別 警戒区域	警戒 区域	特別 警戒区域	警戒 区域	特別 警戒区域	警戒 区域	特別 警戒区域
平成16年 12月17日	戸石町、若竹町	13	12	57	47			70	59
平成18年 3月24日	矢上町、平間町、東町	48	39	127	124			175	163
平成18年 5月19日	中里町、船石町	40	29	129	129			169	158
平成19年 9月14日	現川町	48	43	84	82			132	125
平成19年 9月14日	川内町、牧島町、戸石町、上戸石町	37	33	121	121			158	154
平成19年 12月28日	古賀町、松原町、鶴の尾町	19	17	127	119			146	136
平成20年 3月21日	鳴滝1～3丁目、本河内1～3丁目	29	25	69	67			98	92
平成20年 3月21日	片淵2～5丁目、西山1～4丁目、木場町	22	20	111	108			133	128
平成20年 3月28日	太田尾町、飯香浦町	26	25	112	110			138	135
平成21年 3月13日	土井首町の一部、草住町、三和町、京太郎町、鹿尾町、竿浦町、平山町、平山台1・2丁目	40	37	89	81			129	118
平成21年 4月10日	芒塚町、界1・2丁目、網場町、宿町、春日町、潮見町	33	27	73	68			106	95
平成21年 4月10日	神ノ島町1～3丁目、西泊町、東立神町、西立神町、小瀬戸町、木鉢町1・2丁目	18	17	149	117			167	134
平成22年 3月26日	手熊町、上浦町、柿泊町	26	24	68	68			94	92
平成22年 4月9日	北浦町、茂木町、宮摺町	54	52	194	190			248	242
平成22年 4月16日	小江町、福田本町、小浦町、大浜町	36	35	89	85			125	120
平成23年 3月25日	磯道町、古道町の一部、土井の首町の一部、毛井首町、平瀬町、鶴見台1・2丁目、柳田町、江川町、末石町、深堀1・2・4～6丁目、大籠町	21	21	140	136			161	157
平成23年 3月29日	小ヶ倉町1～3丁目、新小ヶ倉1丁目、ダイヤランド1丁目、新戸町1・3丁目、上戸町4丁目、大山町、古道町の一部	23	23	126	121			149	144
平成23年 5月27日	川平町、けやき台町、三ツ山町、畦別当町	32	30	165	163			197	193
平成24年 6月22日	東山手町、小曾根町、元町、大浦東町、上田町、古河町、東琴平1・2丁目、西琴平町、出雲1～3丁目、上戸町、日の出町、高丘2丁目、椎の木町、川上町、八景町、南ヶ丘町、中小島2丁目、上小島1～3丁目、星取1・2丁目、田上1～4丁目、茂木町の一部	3	3	84	78			87	81
平成24年 6月26日	田手原町、三景台町、早坂町、伊良林2・3丁目、桜木町、新中川町、矢の平1～4丁目、中川2丁目、高平町、鍛冶屋町、愛宕1・2・4丁目、弥生町、白木町、八つ尾町	15	15	101	96			116	111
平成24年 7月6日	多以良町、見崎町、相川町、四枝町、牧野町、式見町、向町、園田町	16	16	167	162			183	178
平成24年 11月20日	上戸町1・4丁目、国分町、小菅町、戸町1～5丁目	20	20	95	89			115	109
平成25年 1月11日	北栄町、北陽町、滑石4～6丁目、鳴見台1・2丁目、鳴見町	31	27	159	154			190	181
平成25年 3月12日	三川町、大手1～3丁目、三原1～3丁目、石神町、辻町、西山台1・2丁目、扇町、高尾町、昭和2・3丁目	26	24	158	154			184	178
平成25年 6月28日	横尾1～5丁目、滑石1～3丁目、葉山1・2丁目、岩屋町、大園町、エミネント葉山町、大宮町、虹が丘町、赤迫1～3丁目、西北町、柳谷町	16	16	133	126			149	142
平成25年 9月6日	稲佐町、曙町、光町、染川町、淵町、江の浦町、平戸小屋町、大鳥町、水の浦町、大谷町、秋月町、鮑の浦町、入船町、塩浜町、岩瀬道町	28	28	117	107			145	135
平成25年 12月6日	松崎町、三重町、三重田町、檜山町、畦町	10	10	104	104			114	114
小 計		730	668	3,148	3,006	0	0	3,878	3,674

告示 年月日	指定箇所（町名）	土石流		急傾斜		地すべり		合計	
		警戒 区域	特別 警戒区域	警戒 区域	特別 警戒区域	警戒 区域	特別 警戒区域	警戒 区域	特別 警戒区域
平成26年 3月28日	田中町、かき道1～4・6丁目	26	24	127	124			153	148
平成26年 5月27日	三京町、畝刈町、京泊3丁目、さくらの里1・3丁目、豊 洋台1丁目	13	10	112	108			125	118
平成26年 7月11日	大崎町、千々町	18	16	120	114			138	130
平成26年 7月18日	青山町、若草町、金堀町、城山台1・2丁目、小江原1～ 3・5丁目、立岩町	17	17	75	68			92	85
平成26年 7月22日	油木町、江里町、音無町、清水町、白鳥町、錦2・3丁 目、西町、緑が丘町	7	7	70	62			77	69
平成26年 12月5日	新戸町3丁目（解除）			-1	-1			-1	-1
平成28年 3月25日	赤迫2丁目、泉1～3丁目、泉町、江平1～3丁目、けや き台町、小峰町、坂本1～3丁目、住吉台町、女の都1・ 2・4丁目、本尾町、住吉町	5	5	109	105			114	110
平成28年 3月25日	時津町全域	47	45	690	669			737	714
平成29年 8月25日	城栄町、城山町、岩見町、春木町、富士見町、宝栄町、御 船蔵町、浜平1・2丁目、西坂町、銭座町、上銭座町、天 神町、目覚町、立山2・5丁目、西山本町、西山1丁目、 上西山町、伊良良3丁目、寺町、籠町、西小島1丁目	5	5	90	90			95	95
平成30年 2月6日	長与町全域	39	35	596	595			635	630
平成30年 7月31日	晴海台町、布巻町、蚊焼町、為石町、椿が丘町、藤田尾 町、川原町、宮崎町、脇岬町、南越町、野母町、野母崎樺 島町	56	47	288	287			344	334
平成31年 1月18日	西海町、琴海村松町、琴海戸根町	32	30	387	387			419	417
平成31年 3月12日	黒浜町、以下宿町、高浜町	13	9	119	119			132	128
令和元年 9月6日	香焼町	1	1	87	81			88	82
令和2年 9月18日	長崎市全域、長与町全域、時津町全域					183	0	183	0
令和3年 3月5日	城栄町の一部			2	2			2	2
令和4年 7月8日	川平町の一部、上黒崎町の一部			4	4			4	4
令和4年 9月9日	多以良町の一部	1						1	0
令和4年 9月9日	多以良町の一部	-1	-1					-1	-1
令和4年 10月14日	伊王島町、高島町、池島町			50	40			50	40
令和5年 7月21日	永田町、下黒崎町、上黒崎町、東出津町、西出津町、新牧 野町、赤首町、下大野町、上大野町、神浦夏井町、神浦丸 尾町、神浦江川町、神浦上大中尾町、神浦北大中尾町、神 浦下大中尾町、神浦扇山町、神浦口福町、神浦向町	25	20	162	162			187	182
令和5年 8月29日	琴海戸根原町、長浦町、琴海形上町、琴海大平町、琴海尾 戸町、本河内4丁目	27	23	468	464			495	487
小 計		331	293	3,555	3,480	183	0	4,069	3,773
合 計		1,061	961	6,703	6,486	183	0	7,947	7,447

＊指定区域については、以下長崎県ホームページで確認できます。

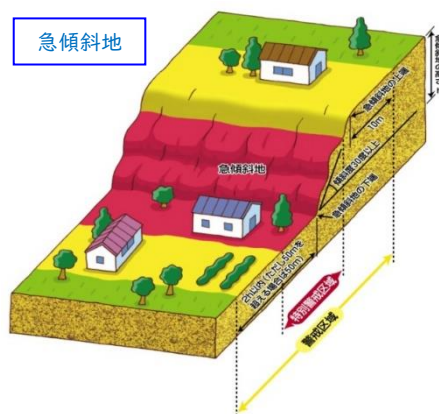
・アドレス

<http://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/anzen-anshin/saigainisonaete/doshahou/sitei-jyoukyou/>

・QRコード



●土砂災害警戒区域等の概要



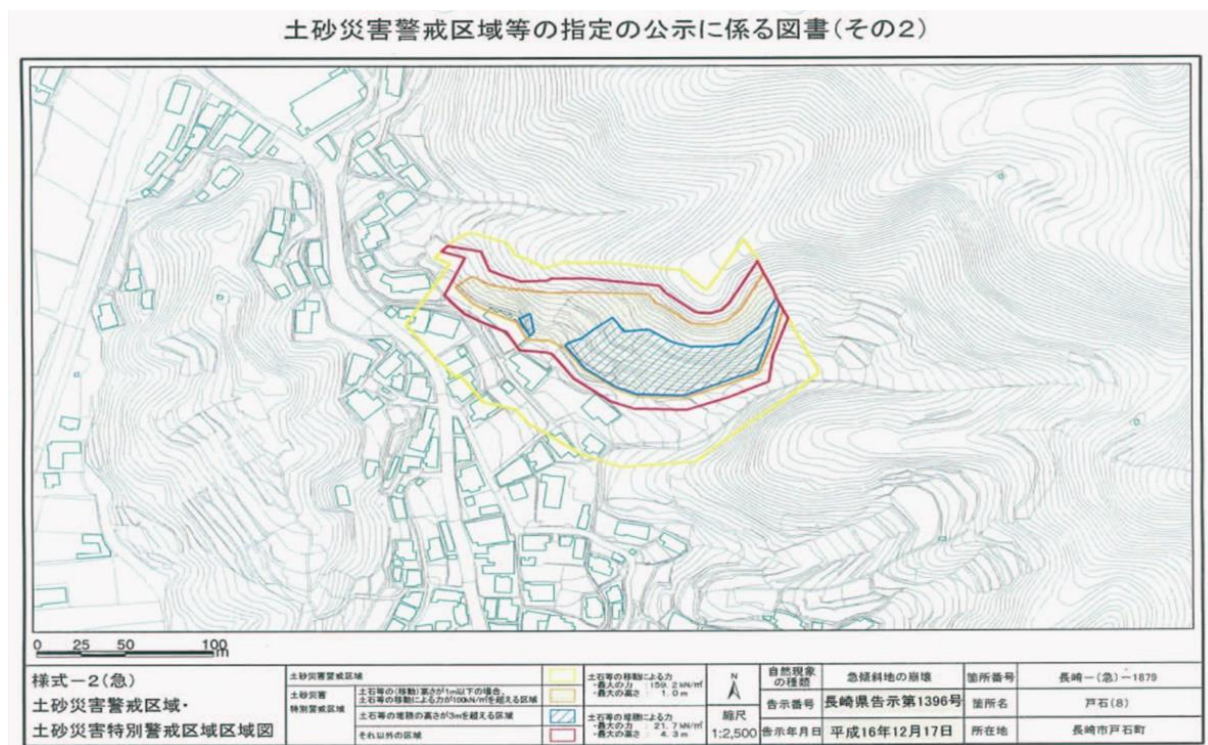
土砂災害特別警戒区域(上記図の赤色で囲まれた区域)とは

建物が破壊され、住民に大きな被害が生じる恐れのある区域で一定の開発行為の制限、及び建築物の構造規制が行われる区域です。

土砂災害警戒区域(上記図の黄色で囲まれた区域)とは

土砂災害の恐れのある区域で市町が警戒避難体制の整備等(ハザードマップの作成)を定める区域です。

<土砂災害警戒区域等の指定の一例>



土砂災害防止法指定状況図

R8: 地すべり調査・長崎市戸石町他調査箇所数: 27箇所

R7: 土石流・がけ崩れ調査

- ・香焼町
- ・(旧)三和町
- ・(旧)野母崎町

調査箇所数: 385箇所

令和 7年 4月現在

凡 例

- 公示済み
- 令和7年度 指定予定
- 令和8年度 指定予定

